

小規模企業景気動向調査 [2024年7月期調査]

～前月から一転して改善が見られるも、現状維持が続く小規模企業景況～

＜産業全体＞

7月期の産業全体の景況は、採算DIがわずかに上昇、売上額・資金繰り・業況DIは小幅に上昇した。主に、建設業におけるDIの大幅な上昇が全体のDIをけん引した。その他の業種のDIについては、全体的に現状維持といった状況であった。一部の業種において、コスト高に落ち着きが見られ、徐々に価格転嫁を進められていることが、DI値の低下傾向が止まった一因としてあげられる。

DI	6月	7月	前月比
売上額	25	52	27
採算	▲17.7	▲16.1	1.6
資金繰り	▲16.4	▲13.1	3.3
業況	▲14.6	▲10.7	3.9

＜製造業(食料品、繊維、機械・金属)＞賃上げ機運の高まりへの対応が求められる製造業

製造業は、資金繰りDIが大幅に上昇し、その他のDIは変化がなかった。

食料品関連は、採算・資金繰り・業況DIが上昇した。繊維工業、機械・金属関連は、採算DIが小幅に低下し、食料品関連と比較すると、価格転嫁しづらい状況であることが窺えた。他業種に比べ、製造業全体で最低賃金の引上げにより、収益性が悪化することを不安視するコメントが多くあり、より一層、価格転嫁の重要性が高まっていくと思われる。

DI	6月	7月	前月比
売上額	44	45	0.1
採算	▲16.6	▲16.9	▲0.3
資金繰り	▲21.6	▲14.3	7.3
業況	▲12.7	▲12.5	0.2

＜建設業＞悪天候・人手不足等の厳しい環境の中で、効率的な利益確保を目指す建設業

建設業は、売上額・業況DIが2桁ptの大幅な上昇となり、採算・資金繰りDIは小幅に上昇した。全DIが今年の4月頃と同程度の水準まで回復した。

要因としては、資材等の納期の安定化や、公共工事の受注が活発化し始めたことから、稼働率が高い事業者が増えたことがあげられる。一方で、ゲリラ豪雨や猛暑により作業がストップし、採算が悪化しているとのコメントが複数あり、悪天候の影響が様々な業種に及んでいる状況である。

DI	6月	7月	前月比
売上額	▲0.9	120	129
採算	▲200	▲15.8	42
資金繰り	▲16.4	▲120	4.4
業況	▲24.5	▲9.3	15.2

＜小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)＞天候の影響を最小限に抑えたい小売業

小売業は、採算・資金繰りDIがわずかに上昇し、売上額DIが小幅に低下した。

衣料品関連は、全DIが上昇した。猛暑の影響で、例年より売上げが伸びているとのコメントがあった。食料品、耐久消費財関連は、売上額・業況DIが低下した。果物やエアコンなど、猛暑の影響により売上げが伸びているものもあるが、物価高騰に伴う節約志向の影響が依然強い状況である。また、猛暑による外出控えや、天候不順による農作物の仕入れ量の不安定化について言及しているコメントが多かった。

DI	6月	7月	前月比
売上額	▲1.5	▲4.3	▲2.8
採算	▲22.9	▲21.5	1.4
資金繰り	▲19.2	▲18.2	1.0
業況	▲17.0	▲17.0	0.0

＜サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)＞コスト高に負けず、インバウンド等の波に乗りたいサービス業

サービス業は、全DIに変化がなかった。

旅館関連は全DIが上昇した。インバウンド需要の増加に加え、新型コロナの5類移行から1年が経過したことから、夏祭りなどのイベントや、学生の合宿などが再開し盛況であるとのコメントが多かった。クリーニング、理・美容関連については、価格転嫁を実施した結果、顧客の来店スピンの長くなったとのコメントが複数あり、顧客に納得してもらった形での価格転嫁の難しさが浮き彫りとなった。

DI	6月	7月	前月比
売上額	7.9	8.5	0.6
採算	▲11.0	▲10.3	0.7
資金繰り	▲8.5	▲8.2	0.3
業況	▲3.9	▲3.9	0.0

調査概要

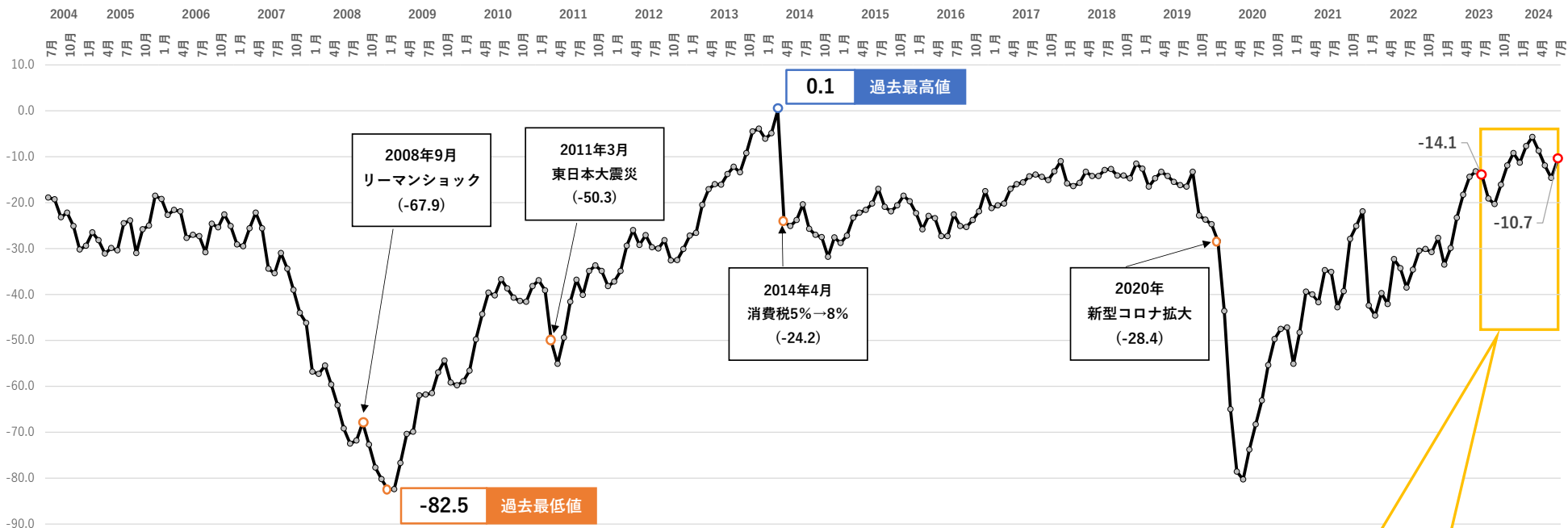
・調査対象：全国303商工会の経営指導員(有効回答数：243/回答率80.2%)

・調査時点：2024年7月末

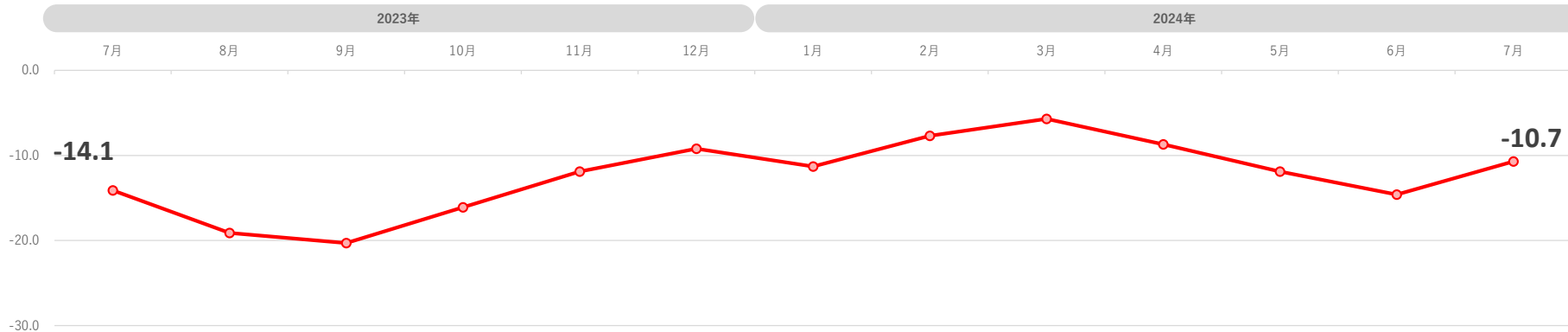
・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～



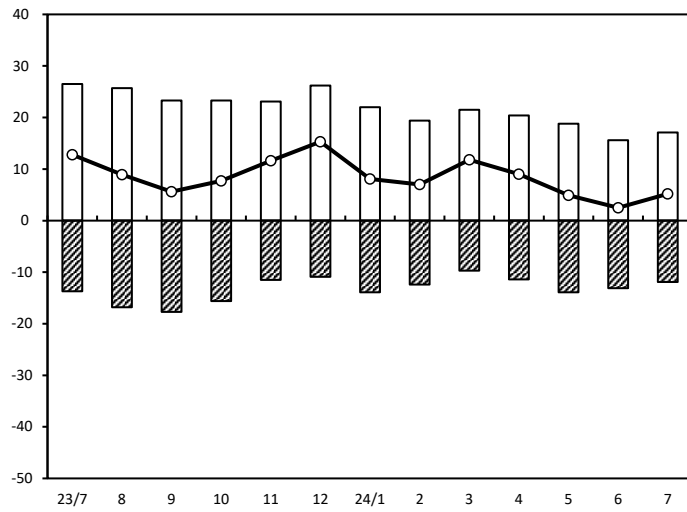
産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



小規模企業景気動向調査(2024年7月期)

産業全体(前年同月比)

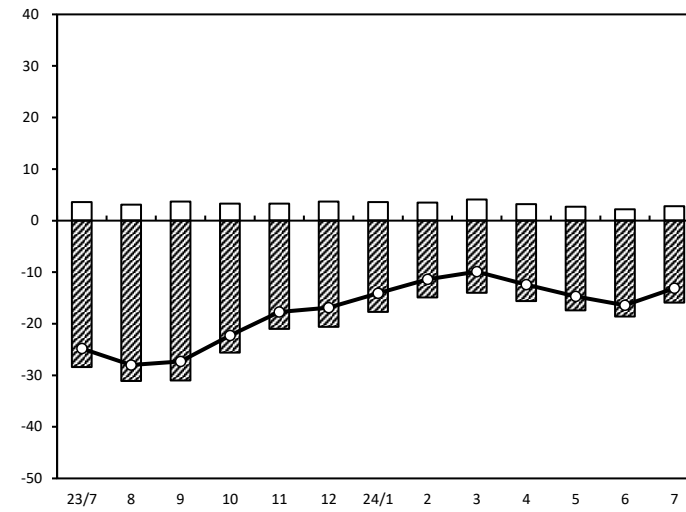
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	26.5	-13.7	12.8
8	25.7	-16.8	8.9
9	23.3	-17.7	5.6
10	23.3	-15.6	7.7
11	23.1	-11.5	11.6
12	26.2	-10.9	15.3
24/1	22.0	-13.9	8.1
2	19.4	-12.4	7.0
3	21.5	-9.7	11.8
4	20.4	-11.4	9.0
5	18.8	-13.9	4.9
6	15.6	-13.1	2.5
7	17.1	-11.9	5.2

(年月)

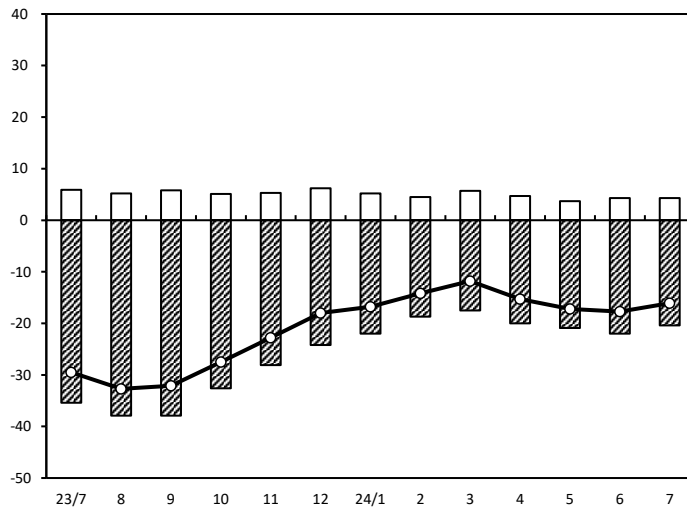
資金繰り



年/月	好転	悪化	DI
23/7	3.6	-28.4	-24.8
8	3.1	-31.1	-28.0
9	3.7	-31.0	-27.3
10	3.3	-25.6	-22.3
11	3.3	-21.0	-17.7
12	3.7	-20.6	-16.9
24/1	3.6	-17.7	-14.1
2	3.5	-14.9	-11.4
3	4.1	-14.0	-9.9
4	3.2	-15.6	-12.4
5	2.7	-17.4	-14.7
6	2.2	-18.6	-16.4
7	2.8	-15.9	-13.1

(年月)

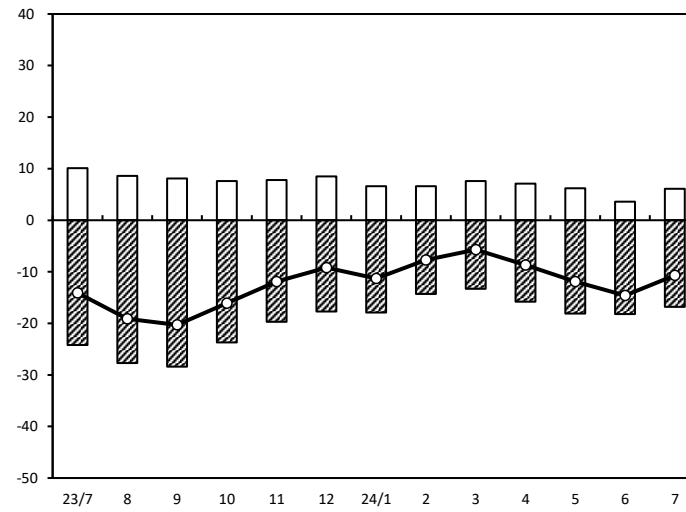
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	5.9	-35.4	-29.5
8	5.2	-37.9	-32.7
9	5.8	-37.9	-32.1
10	5.1	-32.6	-27.5
11	5.3	-28.1	-22.8
12	6.2	-24.2	-18.0
24/1	5.2	-22.0	-16.8
2	4.5	-18.7	-14.2
3	5.7	-17.5	-11.8
4	4.7	-20.0	-15.3
5	3.7	-20.9	-17.2
6	4.3	-22.0	-17.7
7	4.3	-20.4	-16.1

(年月)

業界の業況

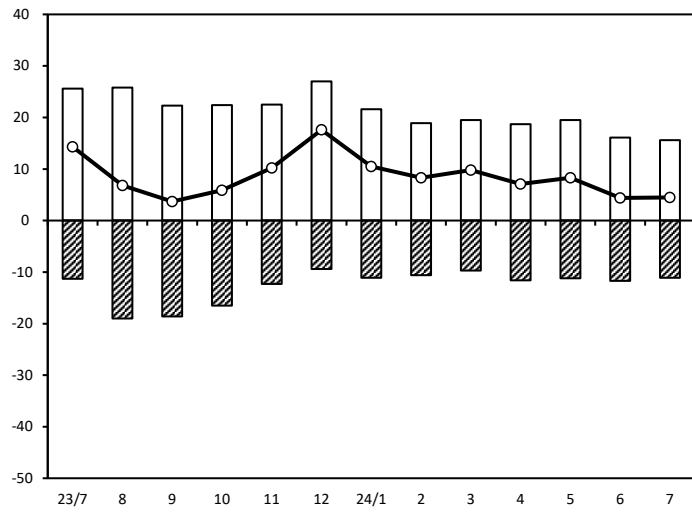


年/月	増加	減少	DI
23/7	10.1	-24.2	-14.1
8	8.6	-27.7	-19.1
9	8.1	-28.4	-20.3
10	7.6	-23.7	-16.1
11	7.8	-19.7	-11.9
12	8.5	-17.7	-9.2
24/1	6.6	-17.9	-11.3
2	6.6	-14.3	-7.7
3	7.6	-13.3	-5.7
4	7.1	-15.8	-8.7
5	6.2	-18.1	-11.9
6	3.6	-18.2	-14.6
7	6.1	-16.8	-10.7

(年月)

製 造 業(前年同月比)

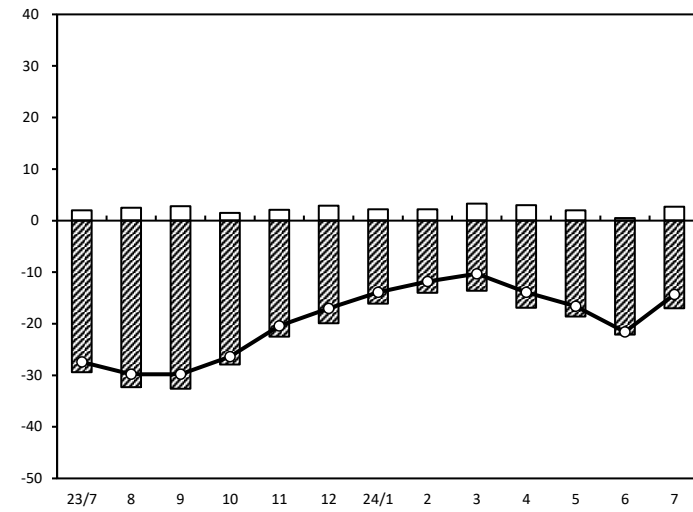
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	25.6	-11.3	14.3
8	25.8	-19.0	6.8
9	22.3	-18.6	3.7
10	22.4	-16.5	5.9
11	22.5	-12.3	10.2
12	27.0	-9.4	17.6
24/1	21.6	-11.1	10.5
2	18.9	-10.6	8.3
3	19.5	-9.7	9.8
4	18.7	-11.6	7.1
5	19.5	-11.2	8.3
6	16.1	-11.7	4.4
7	15.6	-11.1	4.5

(年月)

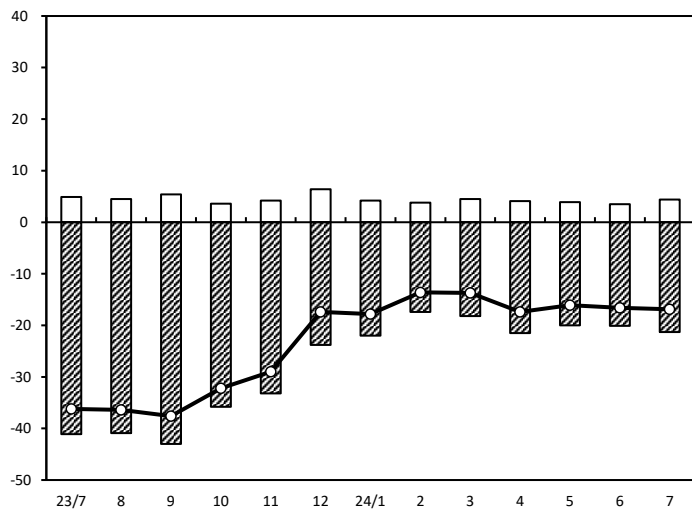
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	2.0	-29.4	-27.4
8	2.5	-32.3	-29.8
9	2.8	-32.6	-29.8
10	1.5	-27.9	-26.4
11	2.1	-22.5	-20.4
12	2.9	-19.9	-17.0
24/1	2.2	-16.1	-13.9
2	2.2	-14.0	-11.8
3	3.3	-13.6	-10.3
4	3.0	-16.9	-13.9
5	2.0	-18.6	-16.6
6	0.5	-22.1	-21.6
7	2.7	-17.0	-14.3

(年月)

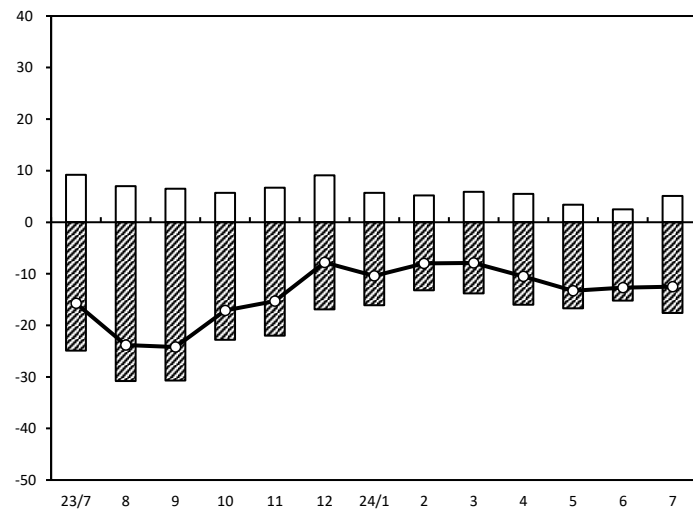
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	4.9	-41.1	-36.2
8	4.5	-40.9	-36.4
9	5.4	-43.0	-37.6
10	3.6	-35.8	-32.2
11	4.2	-33.2	-29.0
12	6.4	-23.8	-17.4
24/1	4.2	-22.0	-17.8
2	3.8	-17.4	-13.6
3	4.5	-18.2	-13.7
4	4.1	-21.5	-17.4
5	3.9	-20.0	-16.1
6	3.5	-20.1	-16.6
7	4.4	-21.3	-16.9

(年月)

業界の業況

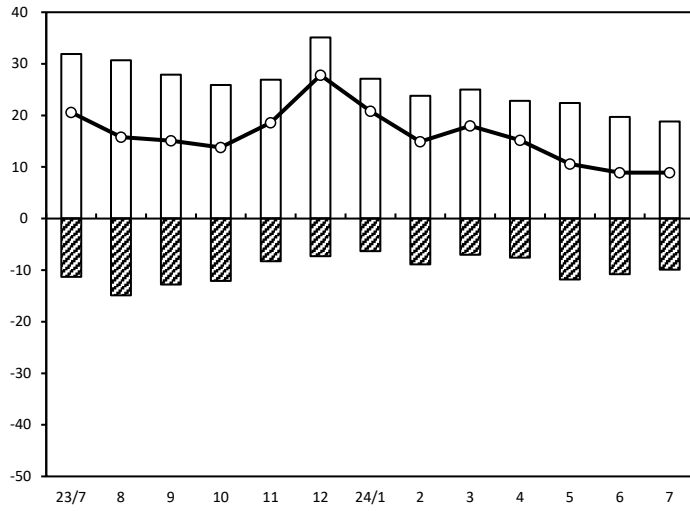


年/月	増加	減少	DI
23/7	9.2	-24.9	-15.7
8	7.0	-30.8	-23.8
9	6.5	-30.7	-24.2
10	5.7	-22.8	-17.1
11	6.7	-22.0	-15.3
12	9.1	-16.9	-7.8
24/1	5.7	-16.1	-10.4
2	5.2	-13.2	-8.0
3	5.9	-13.8	-7.9
4	5.5	-16.0	-10.5
5	3.4	-16.7	-13.3
6	2.5	-15.2	-12.7
7	5.1	-17.6	-12.5

(年月)

製造業【食料品】（前年同月比）

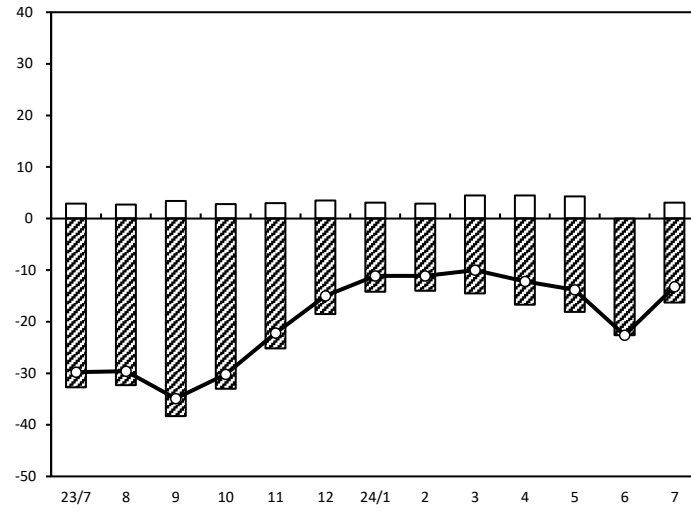
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	31.9	-11.3	20.6
8	30.7	-14.9	15.8
9	27.9	-12.8	15.1
10	25.9	-12.1	13.8
11	26.9	-8.3	18.6
12	35.1	-7.3	27.8
24/1	27.1	-6.3	20.8
2	23.8	-8.9	14.9
3	25.0	-7.0	18.0
4	22.8	-7.6	15.2
5	22.4	-11.8	10.6
6	19.7	-10.8	8.9
7	18.8	-9.9	8.9

(年月)

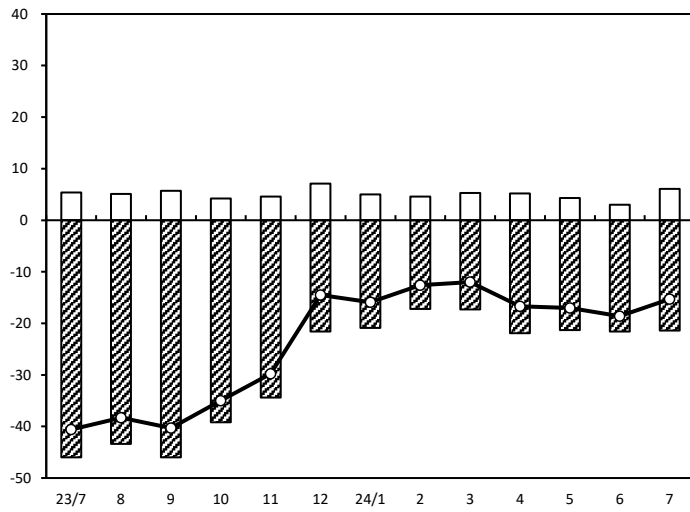
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	2.9	-32.7	-29.8
8	2.7	-32.3	-29.6
9	3.4	-38.3	-34.9
10	2.8	-33.0	-30.2
11	3.0	-25.2	-22.2
12	3.5	-18.5	-15.0
24/1	3.1	-14.2	-11.1
2	2.9	-14.0	-11.1
3	4.5	-14.5	-10.0
4	4.5	-16.7	-12.2
5	4.3	-18.1	-13.8
6	0.0	-22.6	-22.6
7	3.1	-16.3	-13.2

(年月)

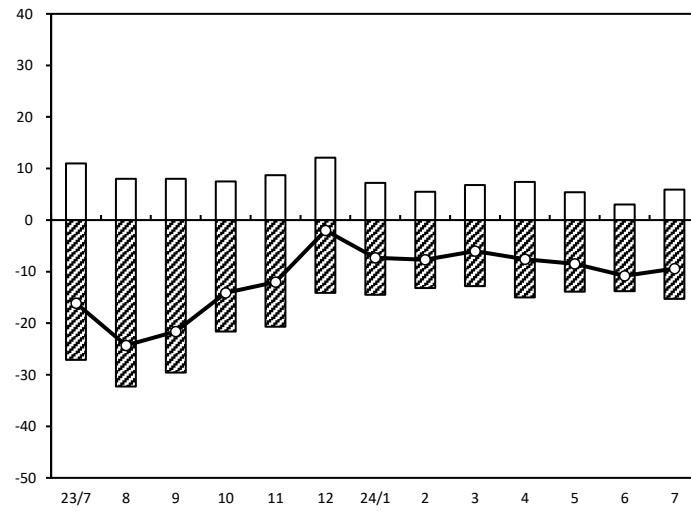
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	5.4	-46.0	-40.6
8	5.1	-43.4	-38.3
9	5.7	-46.0	-40.3
10	4.2	-39.2	-35.0
11	4.6	-34.4	-29.8
12	7.1	-21.6	-14.5
24/1	5.0	-20.9	-15.9
2	4.6	-17.2	-12.6
3	5.3	-17.3	-12.0
4	5.2	-21.9	-16.7
5	4.3	-21.3	-17.0
6	3.0	-21.6	-18.6
7	6.1	-21.4	-15.3

(年月)

業界の業況

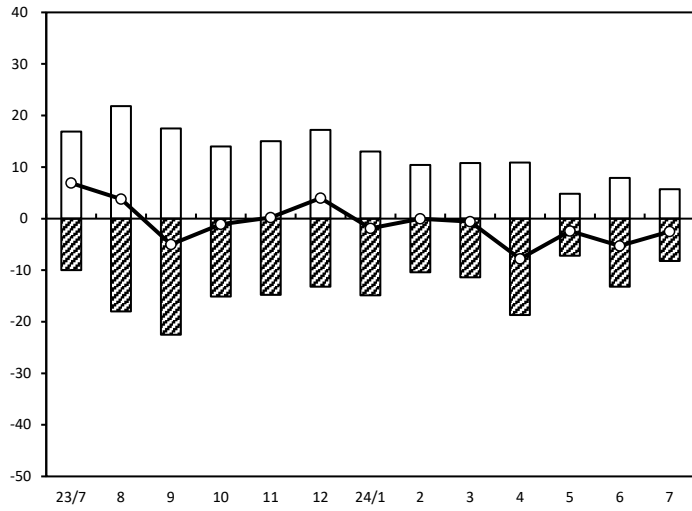


年/月	増加	減少	DI
23/7	11.0	-27.1	-16.1
8	8.0	-32.3	-24.3
9	8.0	-29.6	-21.6
10	7.5	-21.6	-14.1
11	8.7	-20.7	-12.0
12	12.1	-14.1	-2.0
24/1	7.2	-14.5	-7.3
2	5.5	-13.2	-7.7
3	6.8	-12.8	-6.0
4	7.4	-15.0	-7.6
5	5.4	-13.9	-8.5
6	3.0	-13.8	-10.8
7	5.9	-15.3	-9.4

(年月)

製 造 業【繊維】（前年同月比）

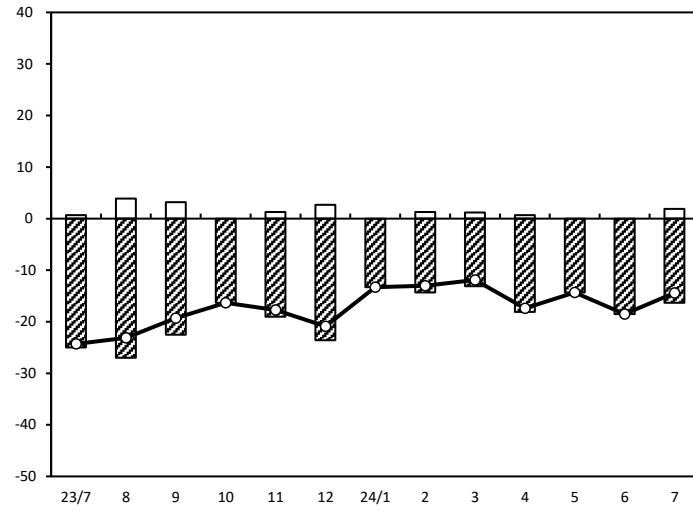
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	16.9	-10.0	6.9
8	21.8	-18.0	3.8
9	17.5	-22.5	-5.0
10	14.0	-15.1	-1.1
11	15.0	-14.8	0.2
12	17.2	-13.2	4.0
24/1	13.0	-14.9	-1.9
2	10.4	-10.4	0.0
3	10.8	-11.4	-0.6
4	10.9	-18.7	-7.8
5	4.8	-7.2	-2.4
6	7.9	-13.2	-5.3
7	5.7	-8.2	-2.5

(年月)

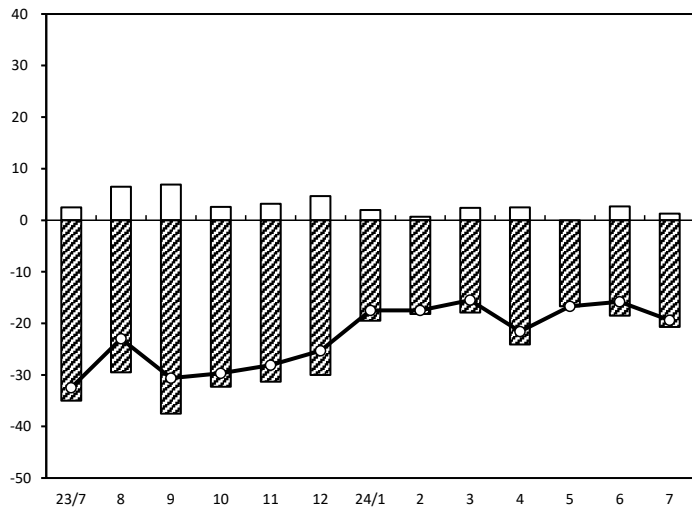
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	0.7	-25.0	-24.3
8	3.9	-27.0	-23.1
9	3.2	-22.5	-19.3
10	0.0	-16.3	-16.3
11	1.3	-19.0	-17.7
12	2.7	-23.6	-20.9
24/1	0.0	-13.3	-13.3
2	1.3	-14.3	-13.0
3	1.2	-13.1	-11.9
4	0.7	-18.1	-17.4
5	0.0	-14.3	-14.3
6	0.0	-18.5	-18.5
7	1.9	-16.3	-14.4

(年月)

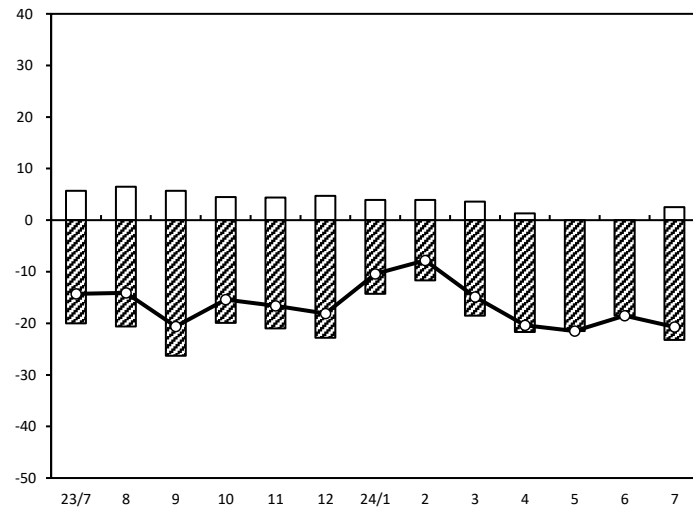
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	2.5	-35.0	-32.5
8	6.5	-29.5	-23.0
9	6.9	-37.5	-30.6
10	2.6	-32.3	-29.7
11	3.2	-31.3	-28.1
12	4.7	-30.0	-25.3
24/1	2.0	-19.5	-17.5
2	0.7	-18.2	-17.5
3	2.4	-17.9	-15.5
4	2.5	-24.1	-21.6
5	0.0	-16.7	-16.7
6	2.7	-18.5	-15.8
7	1.3	-20.7	-19.4

(年月)

業界の業況

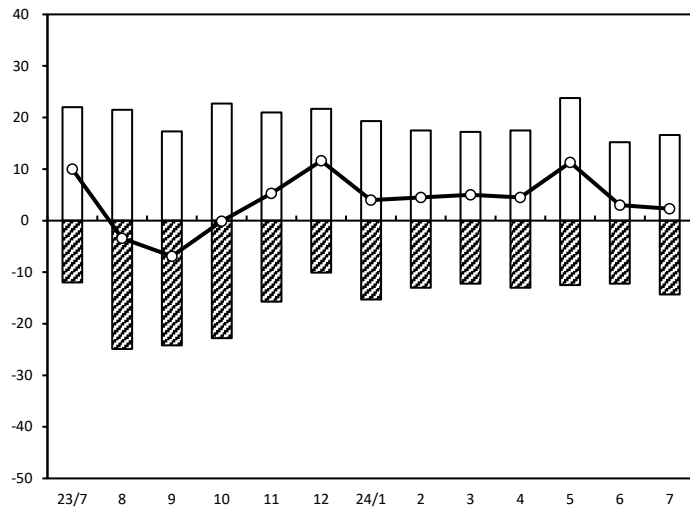


年/月	増加	減少	DI
23/7	5.7	-20.0	-14.3
8	6.5	-20.6	-14.1
9	5.7	-26.3	-20.6
10	4.5	-19.9	-15.4
11	4.4	-21.0	-16.6
12	4.7	-22.8	-18.1
24/1	3.9	-14.3	-10.4
2	3.9	-11.7	-7.8
3	3.6	-18.5	-14.9
4	1.3	-21.7	-20.4
5	0.0	-21.5	-21.5
6	0.0	-18.5	-18.5
7	2.5	-23.2	-20.7

(年月)

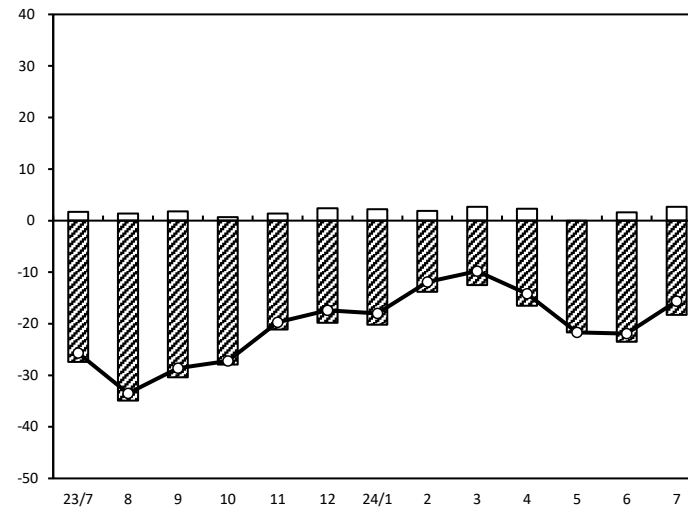
製 造 業【機械・金属】（前年同月比）

売上額



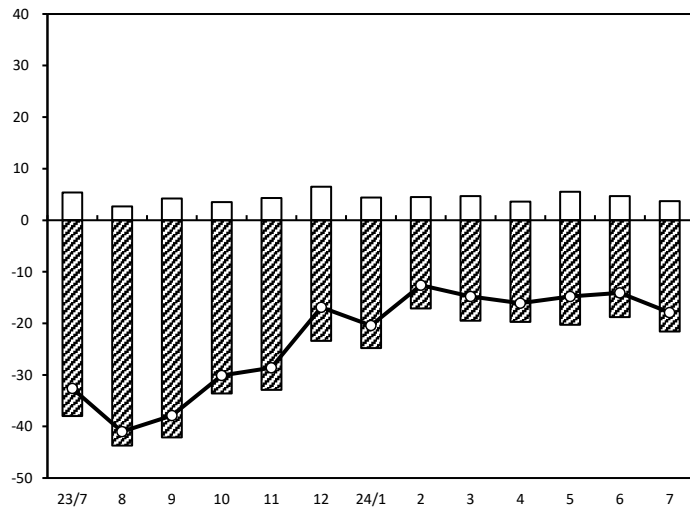
(年月)

資金繰り



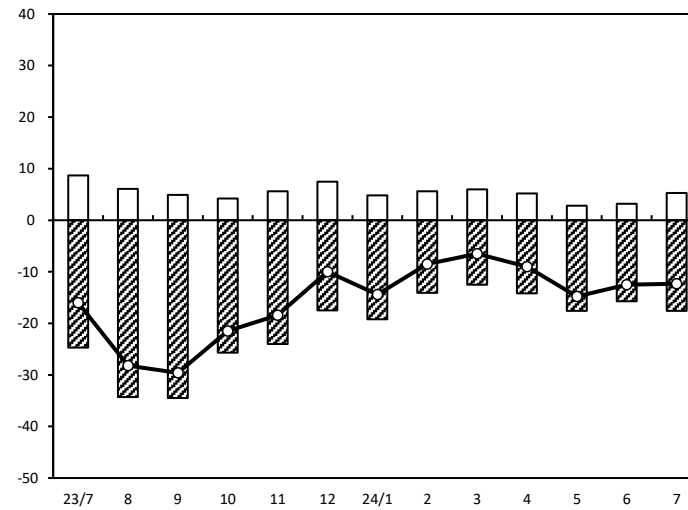
(年月)

採算



(年月)

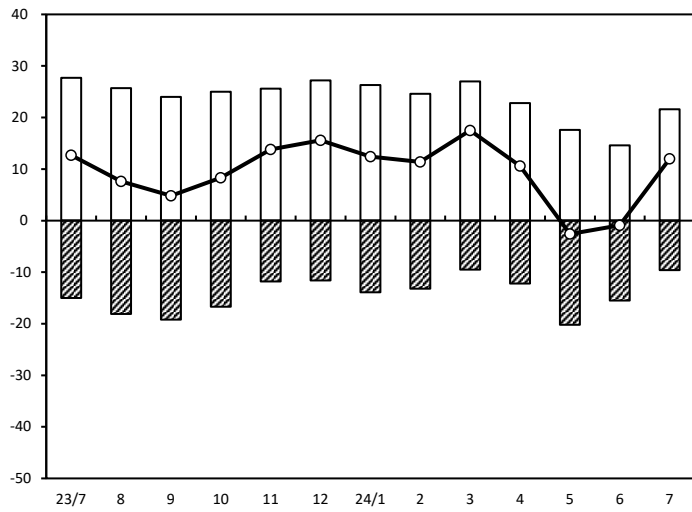
業界の業況



(年月)

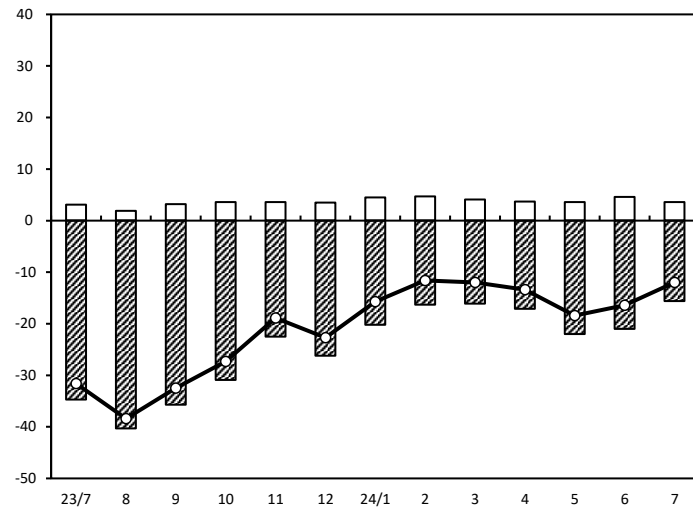
建設業(前年同月比)

売上額



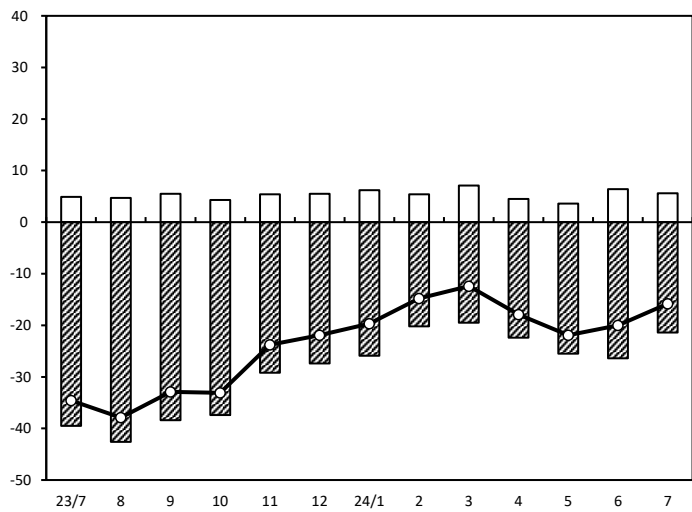
(年月)

資金繰り



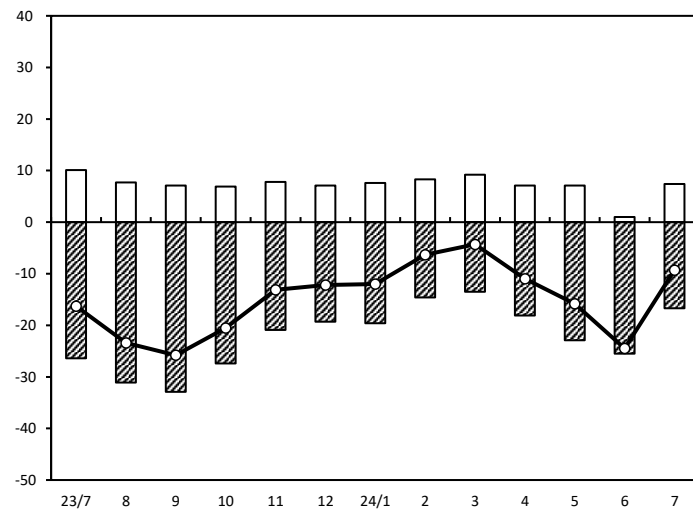
(年月)

採算



(年月)

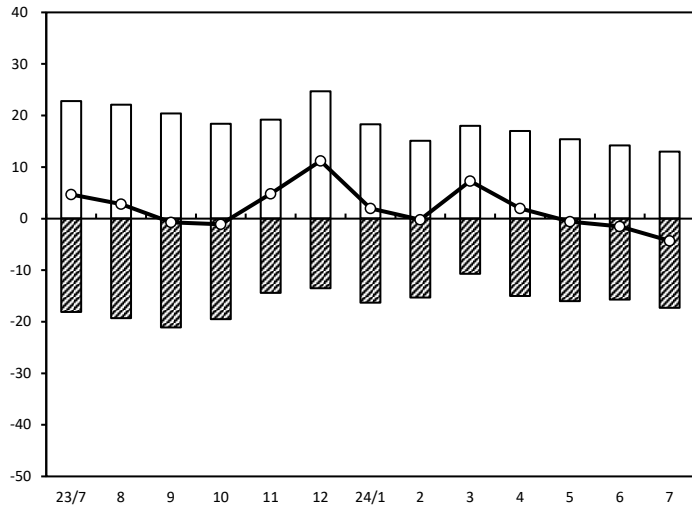
業界の業況



(年月)

小 売 業(前年同月比)

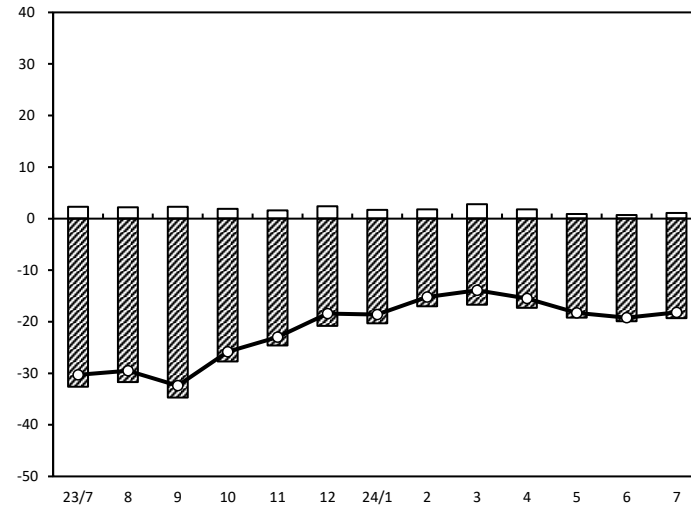
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	22.8	-18.1	4.7
8	22.1	-19.3	2.8
9	20.4	-21.1	-0.7
10	18.4	-19.5	-1.1
11	19.2	-14.4	4.8
12	24.7	-13.5	11.2
24/1	18.3	-16.3	2.0
2	15.1	-15.3	-0.2
3	18.0	-10.7	7.3
4	17.0	-15.0	2.0
5	15.4	-16.0	-0.6
6	14.2	-15.7	-1.5
7	13.0	-17.3	-4.3

(年月)

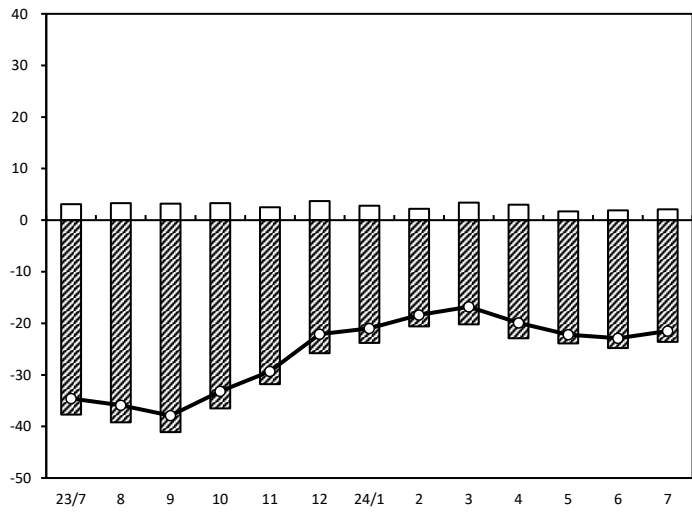
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	2.3	-32.6	-30.3
8	2.2	-31.7	-29.5
9	2.3	-34.7	-32.4
10	1.9	-27.7	-25.8
11	1.6	-24.6	-23.0
12	2.4	-20.8	-18.4
24/1	1.7	-20.3	-18.6
2	1.8	-17.0	-15.2
3	2.8	-16.7	-13.9
4	1.8	-17.3	-15.5
5	0.9	-19.2	-18.3
6	0.7	-19.9	-19.2
7	1.1	-19.3	-18.2

(年月)

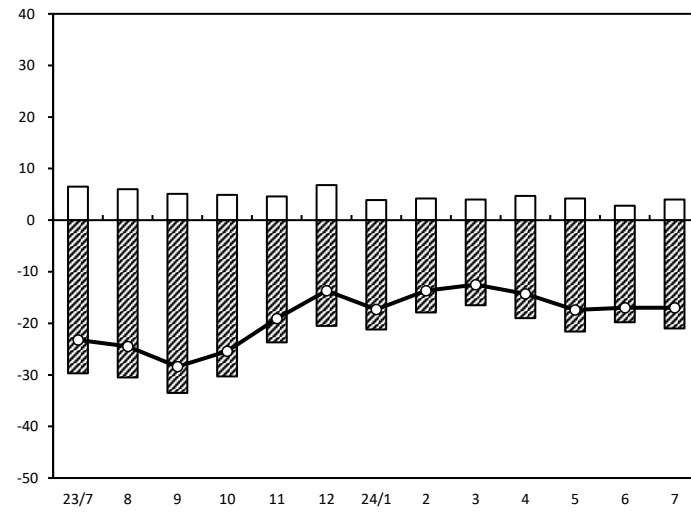
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	3.1	-37.7	-34.6
8	3.3	-39.2	-35.9
9	3.2	-41.1	-37.9
10	3.3	-36.5	-33.2
11	2.5	-31.8	-29.3
12	3.7	-25.8	-22.1
24/1	2.8	-23.8	-21.0
2	2.2	-20.6	-18.4
3	3.4	-20.2	-16.8
4	3.0	-22.9	-19.9
5	1.7	-23.9	-22.2
6	1.9	-24.8	-22.9
7	2.1	-23.6	-21.5

(年月)

業界の業況

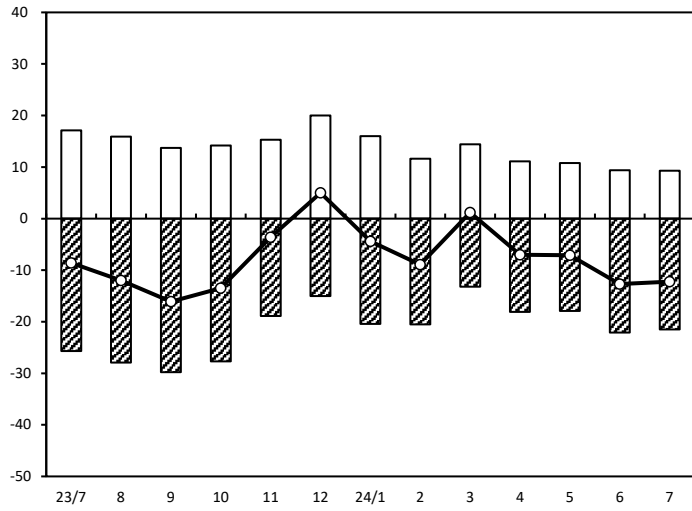


年/月	増加	減少	DI
23/7	6.5	-29.7	-23.2
8	6.0	-30.5	-24.5
9	5.1	-33.5	-28.4
10	4.9	-30.3	-25.4
11	4.6	-23.7	-19.1
12	6.8	-20.5	-13.7
24/1	3.9	-21.2	-17.3
2	4.2	-17.9	-13.7
3	4.0	-16.5	-12.5
4	4.7	-19.0	-14.3
5	4.2	-21.6	-17.4
6	2.8	-19.8	-17.0
7	4.0	-21.0	-17.0

(年月)

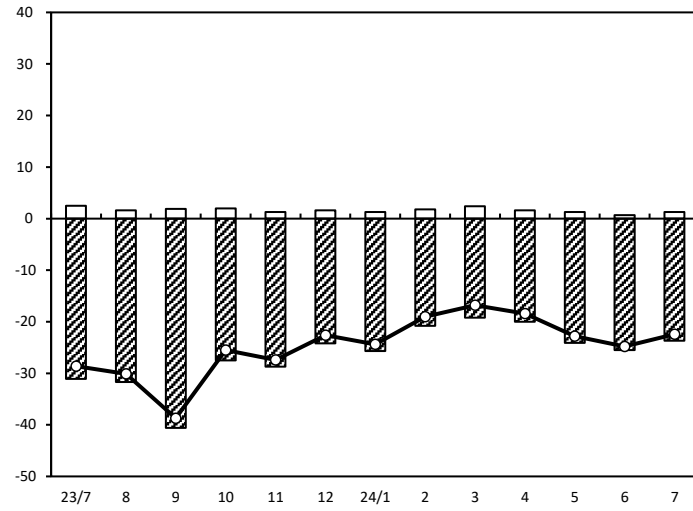
小売業【衣料品】（前年同月比）

売上額



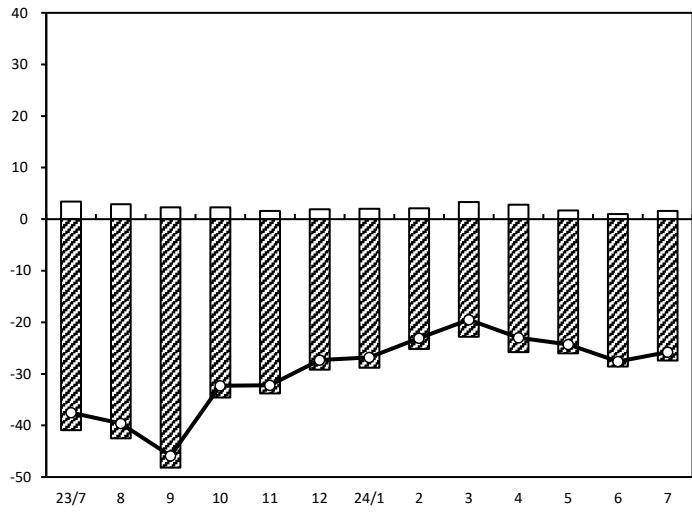
(年月)

資金繰り



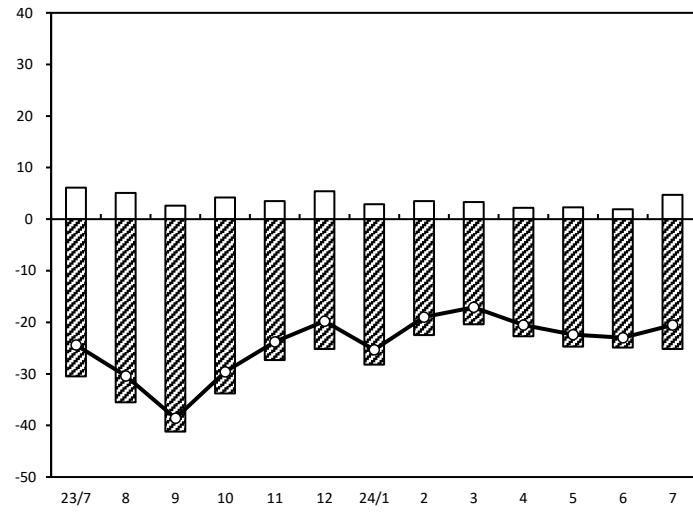
(年月)

採算



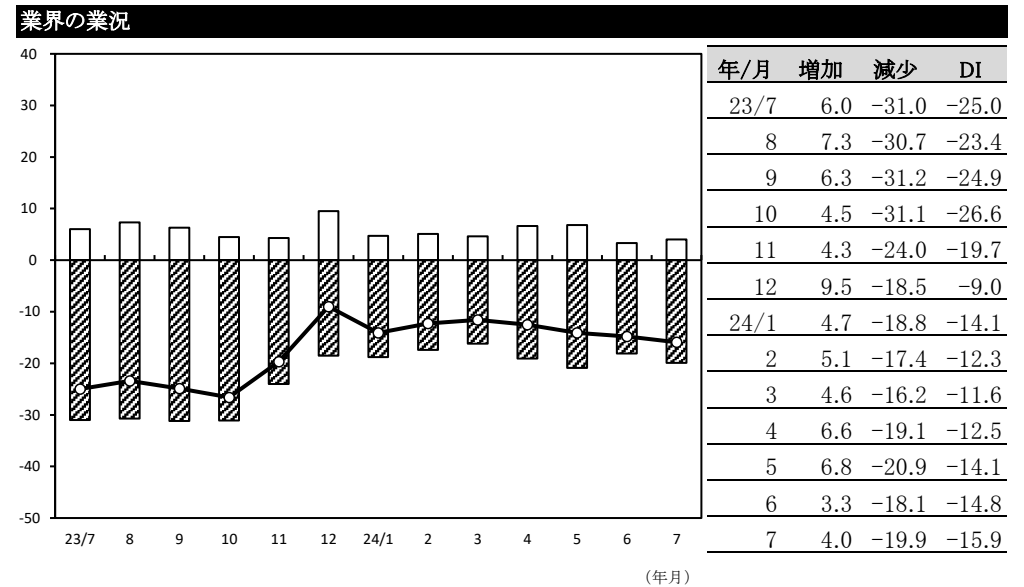
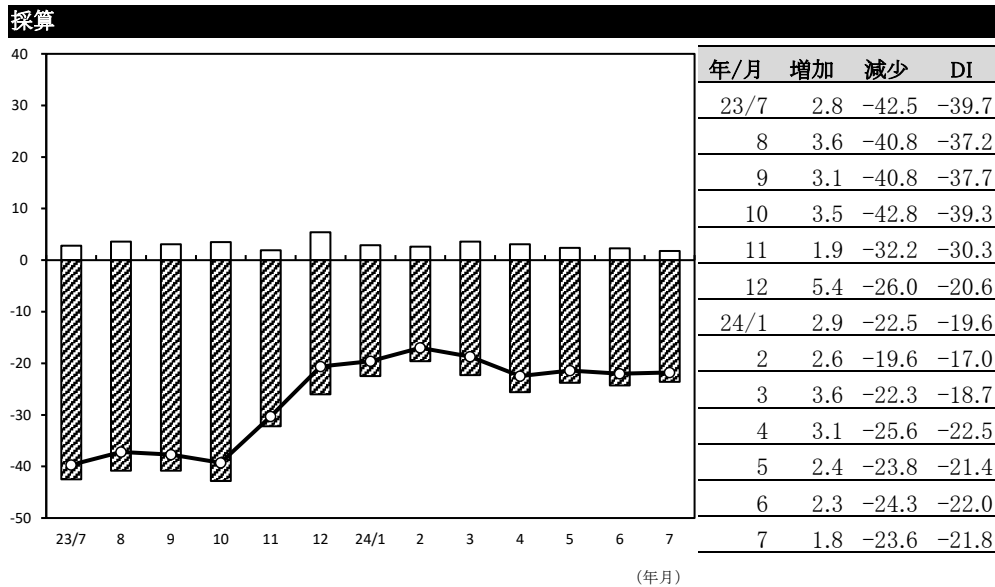
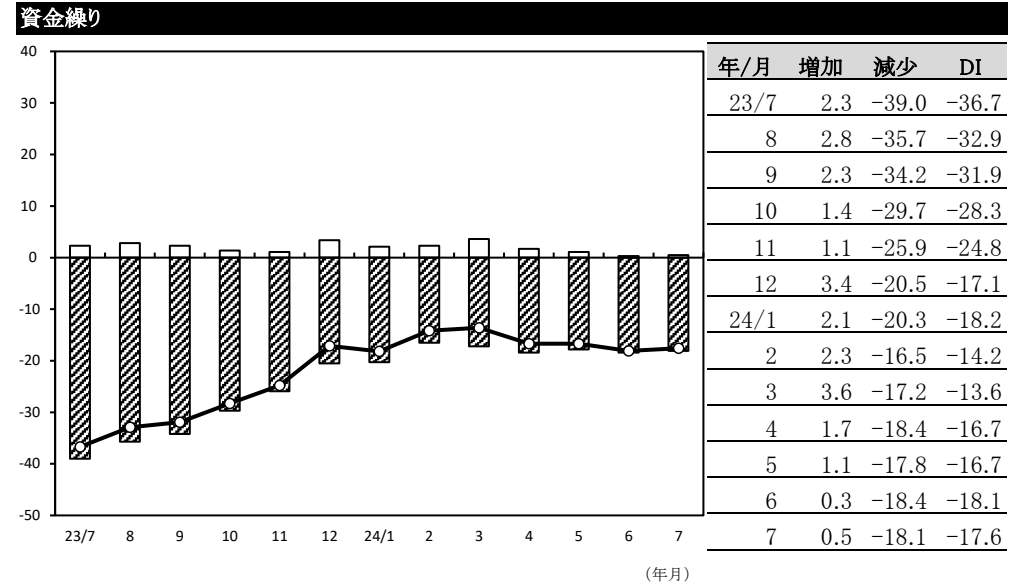
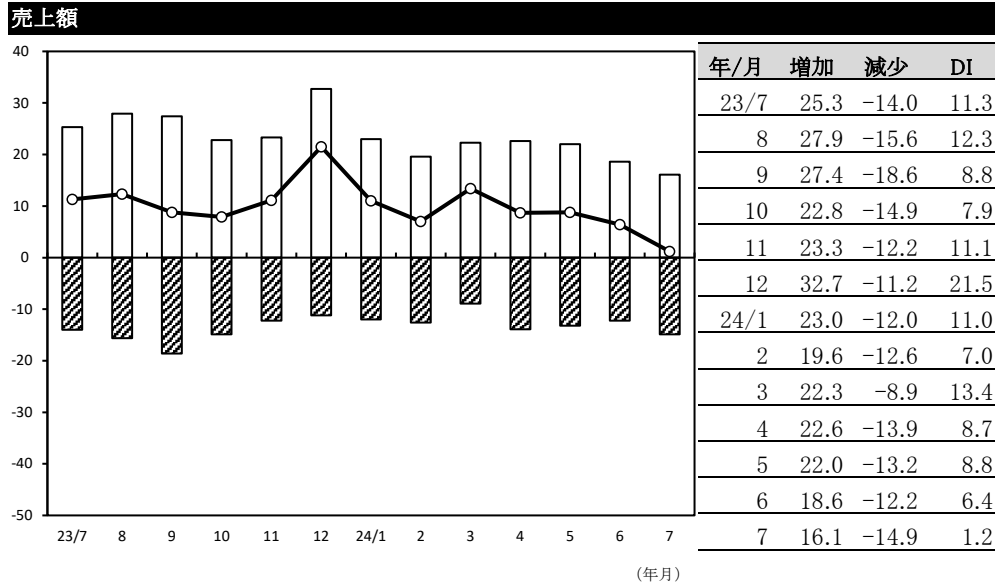
(年月)

業界の業況



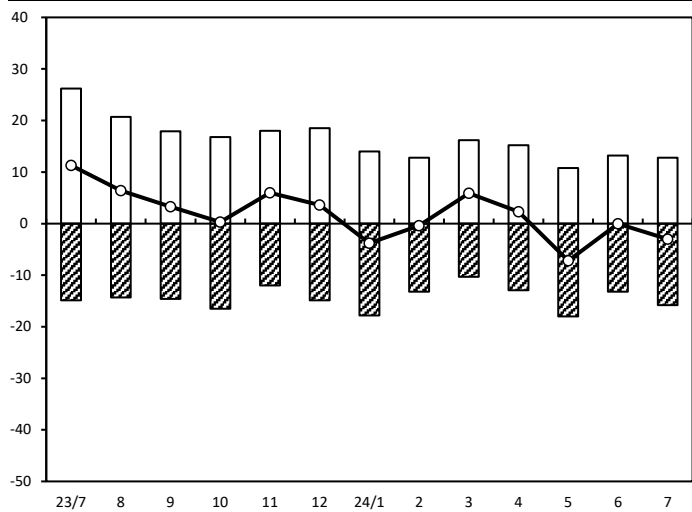
(年月)

小 売 業 【食料品】（前年同月比）



小 売 業 【耐久消費財】（前年同月比）

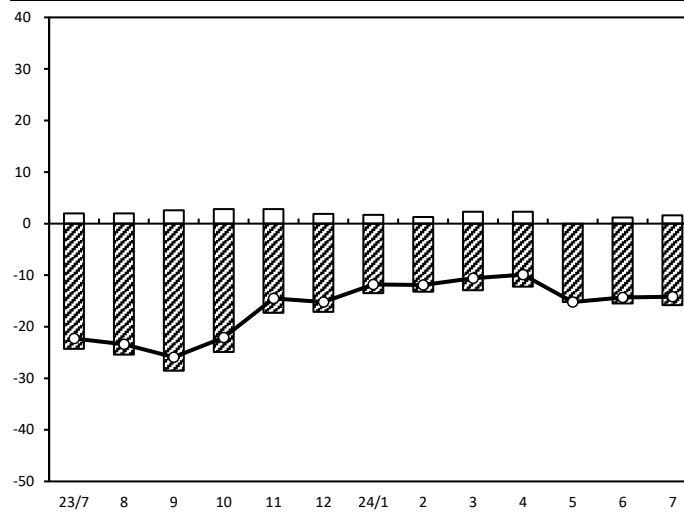
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	26.2	-14.9	11.3
8	20.7	-14.3	6.4
9	17.9	-14.6	3.3
10	16.8	-16.5	0.3
11	18.0	-12.0	6.0
12	18.5	-14.9	3.6
24/1	14.0	-17.8	-3.8
2	12.8	-13.2	-0.4
3	16.2	-10.3	5.9
4	15.2	-12.9	2.3
5	10.8	-18.0	-7.2
6	13.2	-13.2	0.0
7	12.8	-15.8	-3.0

(年月)

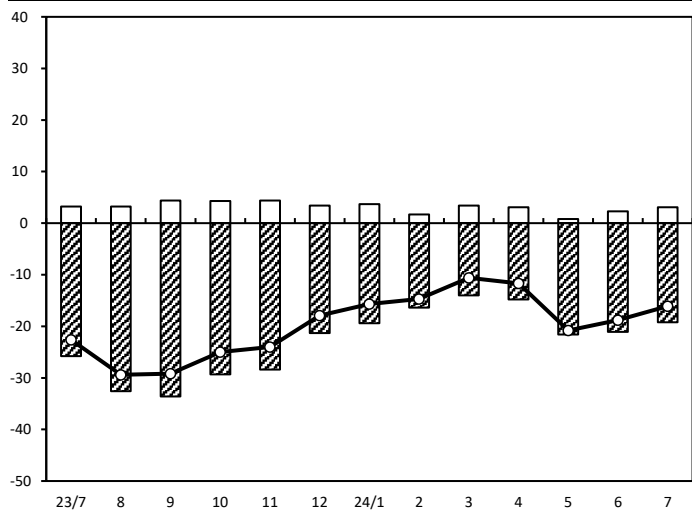
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	2.0	-24.3	-22.3
8	2.0	-25.4	-23.4
9	2.6	-28.5	-25.9
10	2.8	-24.9	-22.1
11	2.8	-17.3	-14.5
12	1.9	-17.1	-15.2
24/1	1.7	-13.5	-11.8
2	1.3	-13.2	-11.9
3	2.3	-12.9	-10.6
4	2.3	-12.2	-9.9
5	0.0	-15.2	-15.2
6	1.2	-15.5	-14.3
7	1.6	-15.8	-14.2

(年月)

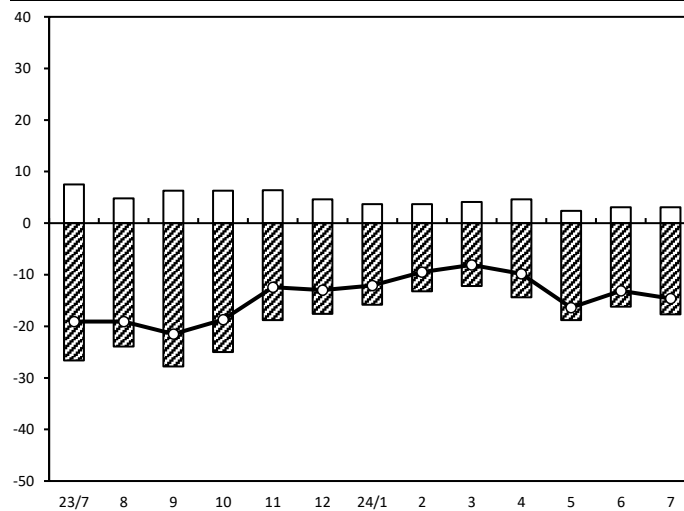
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	3.2	-25.8	-22.6
8	3.2	-32.6	-29.4
9	4.4	-33.6	-29.2
10	4.3	-29.3	-25.0
11	4.4	-28.4	-24.0
12	3.4	-21.3	-17.9
24/1	3.7	-19.4	-15.7
2	1.7	-16.4	-14.7
3	3.4	-14.0	-10.6
4	3.1	-14.8	-11.7
5	0.8	-21.6	-20.8
6	2.3	-21.1	-18.8
7	3.1	-19.2	-16.1

(年月)

業界の業況

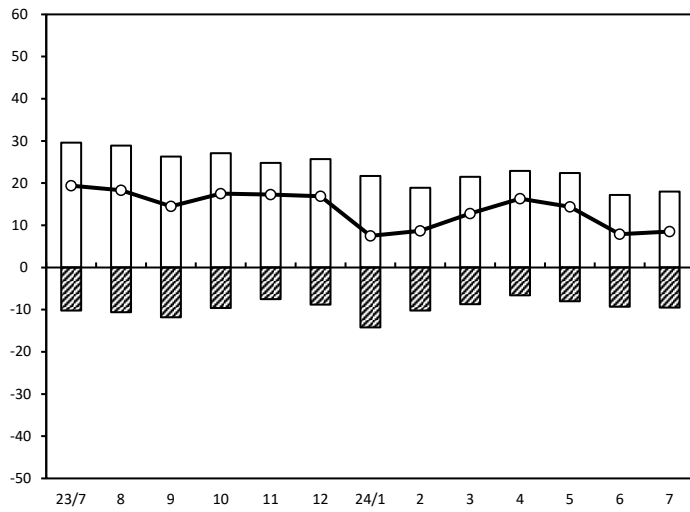


年/月	増加	減少	DI
23/7	7.5	-26.6	-19.1
8	4.8	-23.9	-19.1
9	6.3	-27.8	-21.5
10	6.3	-25.0	-18.7
11	6.4	-18.8	-12.4
12	4.6	-17.6	-13.0
24/1	3.7	-15.8	-12.1
2	3.7	-13.2	-9.5
3	4.1	-12.2	-8.1
4	4.6	-14.4	-9.8
5	2.4	-18.8	-16.4
6	3.1	-16.2	-13.1
7	3.1	-17.7	-14.6

(年月)

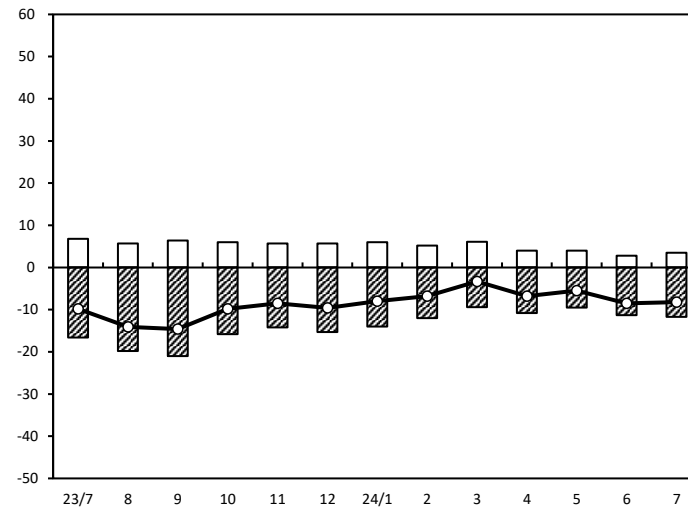
サービス業(前年同月比)

売上額



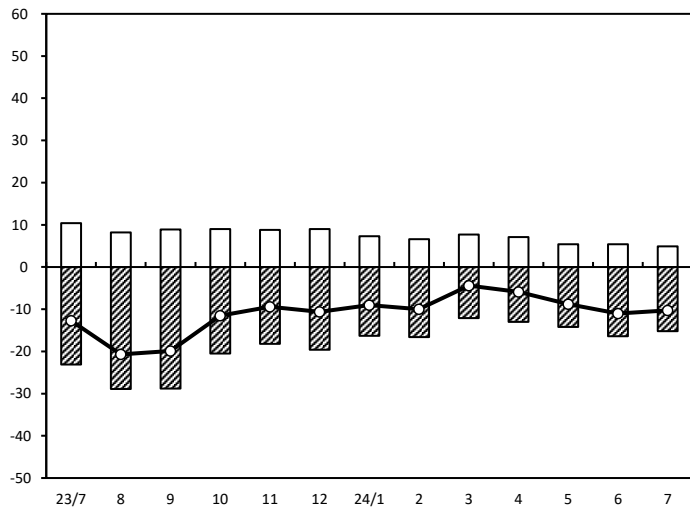
(年月)

資金繰り



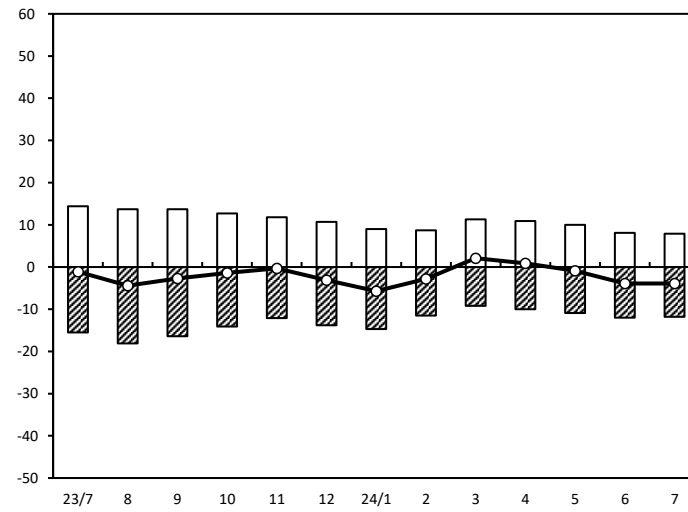
(年月)

採算



(年月)

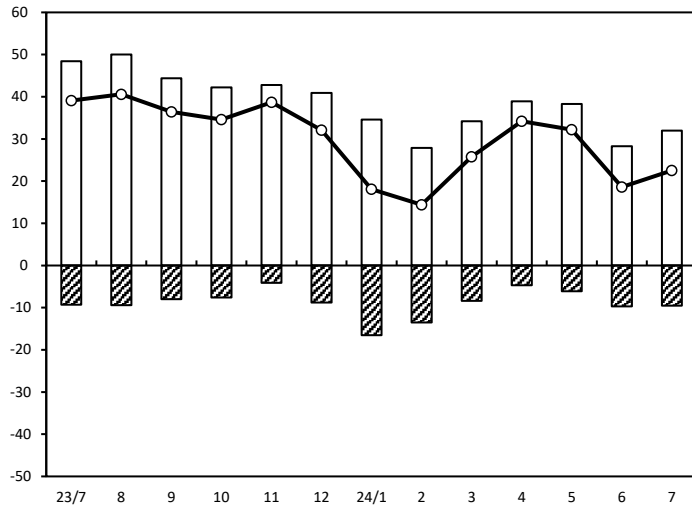
業界の業況



(年月)

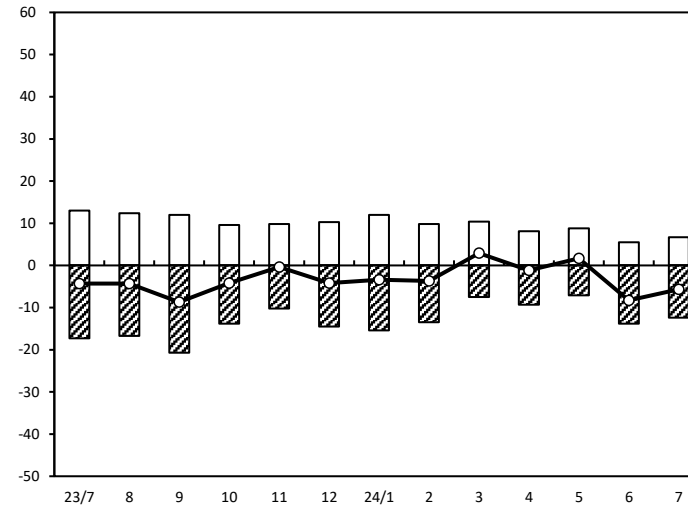
サービス業【旅館】（前年同月比）

売上額



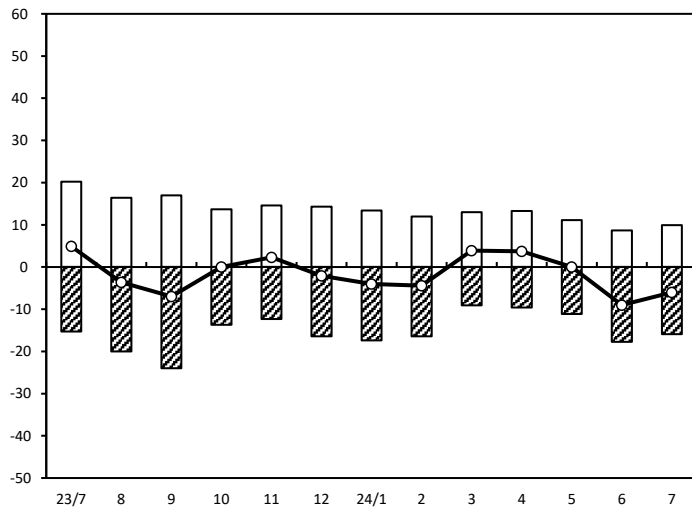
(年月)

資金繰り



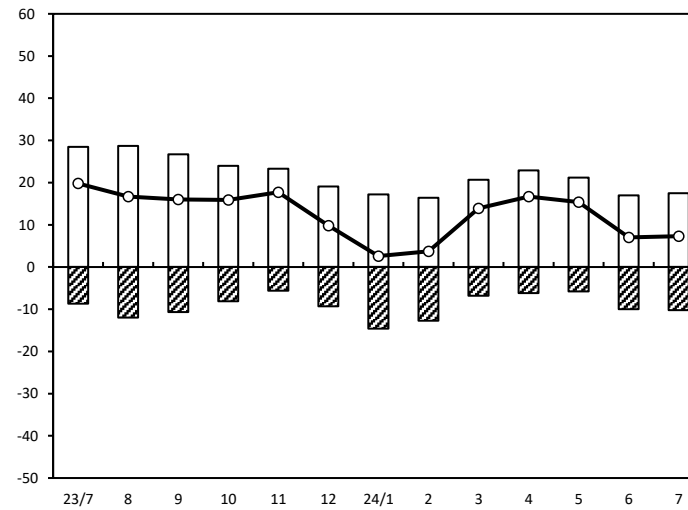
(年月)

採算



(年月)

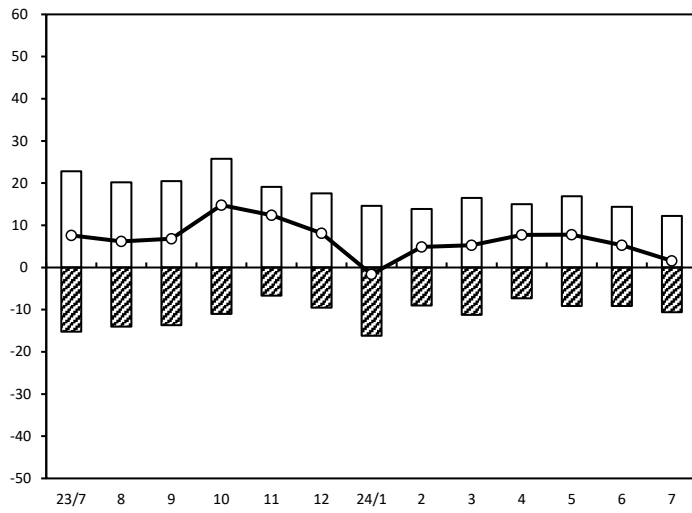
業界の業況



(年月)

サービス業【クリーニング】（前年同月比）

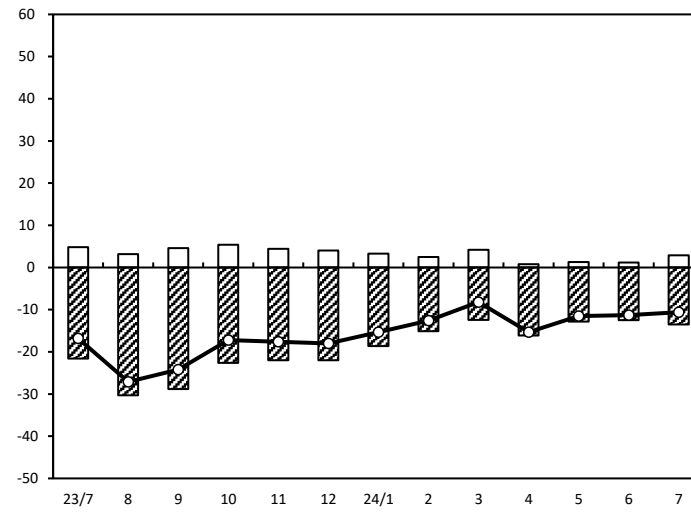
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	22.8	-15.2	7.6
8	20.2	-14.0	6.2
9	20.5	-13.7	6.8
10	25.8	-11.0	14.8
11	19.1	-6.7	12.4
12	17.6	-9.5	8.1
24/1	14.6	-16.2	-1.6
2	13.9	-9.0	4.9
3	16.5	-11.2	5.3
4	15.0	-7.3	7.7
5	16.9	-9.1	7.8
6	14.4	-9.1	5.3
7	12.2	-10.6	1.6

(年月)

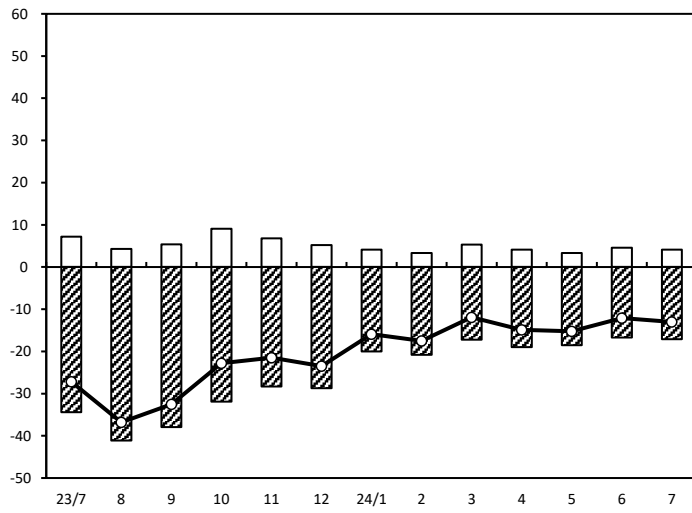
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	4.8	-21.6	-16.8
8	3.2	-30.3	-27.1
9	4.6	-28.8	-24.2
10	5.4	-22.6	-17.2
11	4.4	-22.0	-17.6
12	4.0	-22.0	-18.0
24/1	3.3	-18.6	-15.3
2	2.5	-15.1	-12.6
3	4.2	-12.4	-8.2
4	0.8	-16.1	-15.3
5	1.3	-12.8	-11.5
6	1.2	-12.5	-11.3
7	2.9	-13.5	-10.6

(年月)

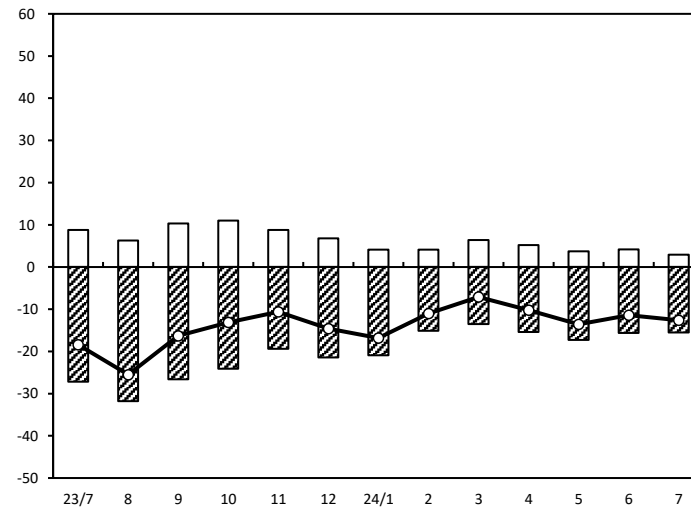
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	7.2	-34.4	-27.2
8	4.3	-41.1	-36.8
9	5.4	-37.9	-32.5
10	9.1	-31.9	-22.8
11	6.8	-28.3	-21.5
12	5.2	-28.7	-23.5
24/1	4.1	-20.0	-15.9
2	3.3	-20.8	-17.5
3	5.3	-17.2	-11.9
4	4.1	-19.0	-14.9
5	3.3	-18.5	-15.2
6	4.6	-16.7	-12.1
7	4.1	-17.1	-13.0

(年月)

業界の業況

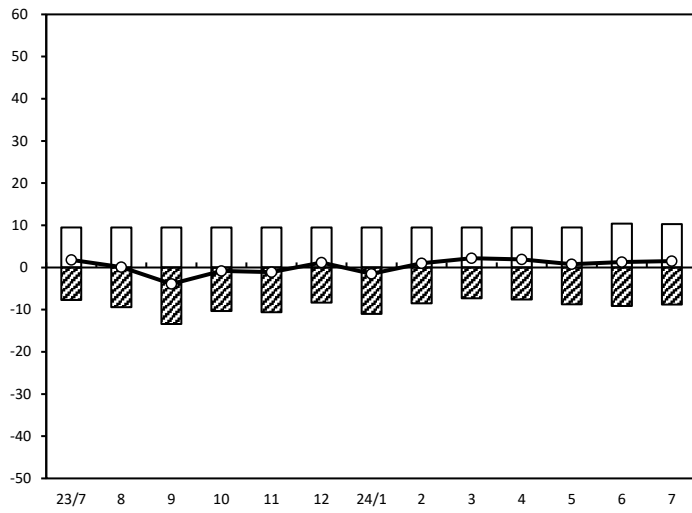


年/月	増加	減少	DI
23/7	8.8	-27.2	-18.4
8	6.3	-31.8	-25.5
9	10.3	-26.6	-16.3
10	11.0	-24.1	-13.1
11	8.8	-19.4	-10.6
12	6.8	-21.4	-14.6
24/1	4.1	-20.9	-16.8
2	4.1	-15.1	-11.0
3	6.4	-13.5	-7.1
4	5.2	-15.4	-10.2
5	3.7	-17.3	-13.6
6	4.2	-15.6	-11.4
7	2.9	-15.5	-12.6

(年月)

サービス業【理・美容】（前年同月比）

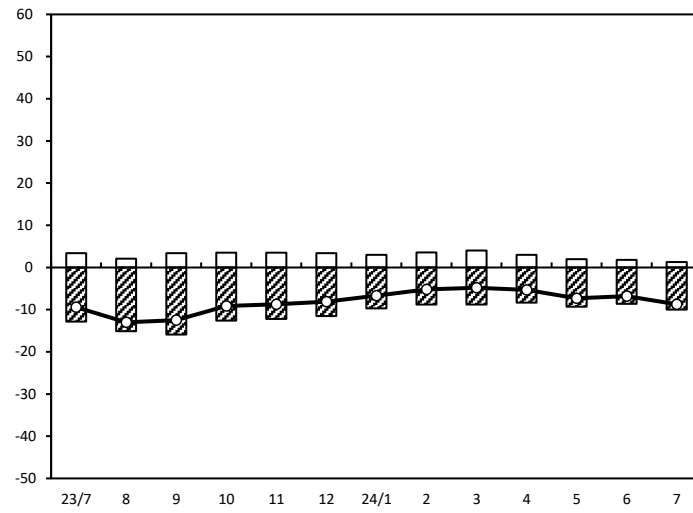
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/7	9.5	-7.7	1.8
8	9.5	-9.4	0.1
9	9.5	-13.4	-3.9
10	9.5	-10.3	-0.8
11	9.5	-10.6	-1.1
12	9.5	-8.3	1.2
24/1	9.5	-11.0	-1.5
2	9.5	-8.5	1.0
3	9.5	-7.3	2.2
4	9.5	-7.6	1.9
5	9.5	-8.7	0.8
6	10.4	-9.1	1.3
7	10.3	-8.8	1.5

(年月)

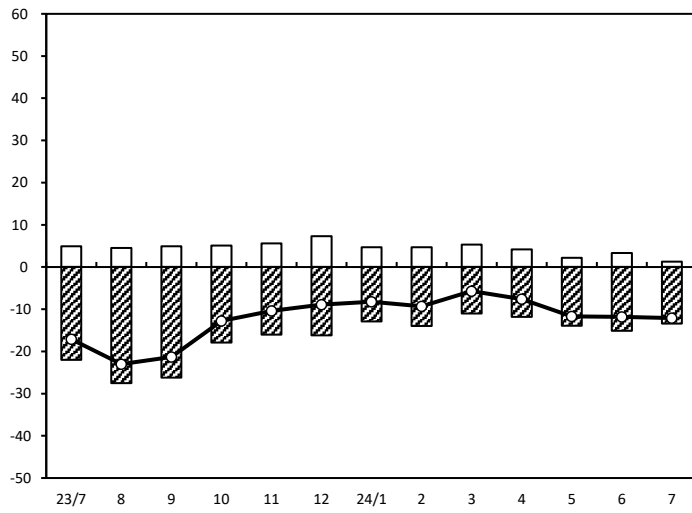
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/7	3.4	-12.8	-9.4
8	2.1	-15.1	-13.0
9	3.4	-15.9	-12.5
10	3.5	-12.6	-9.1
11	3.5	-12.2	-8.7
12	3.4	-11.5	-8.1
24/1	3.0	-9.7	-6.7
2	3.6	-8.8	-5.2
3	4.0	-8.8	-4.8
4	3.0	-8.3	-5.3
5	2.0	-9.3	-7.3
6	1.8	-8.6	-6.8
7	1.3	-10.0	-8.7

(年月)

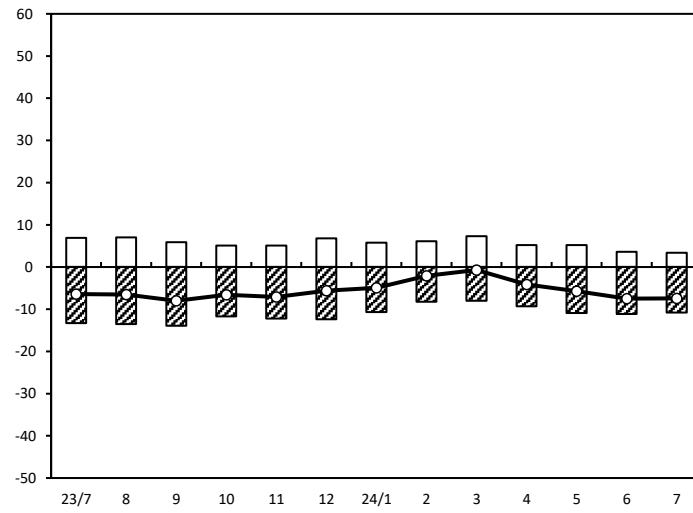
採算



年/月	増加	減少	DI
23/7	4.9	-22.0	-17.1
8	4.5	-27.5	-23.0
9	4.9	-26.2	-21.3
10	5.1	-17.9	-12.8
11	5.6	-16.0	-10.4
12	7.3	-16.2	-8.9
24/1	4.7	-12.9	-8.2
2	4.7	-14.0	-9.3
3	5.3	-11.0	-5.7
4	4.2	-11.8	-7.6
5	2.2	-13.9	-11.7
6	3.3	-15.1	-11.8
7	1.3	-13.4	-12.1

(年月)

業界の業況



年/月	増加	減少	DI
23/7	6.9	-13.3	-6.4
8	7.0	-13.5	-6.5
9	5.9	-13.9	-8.0
10	5.1	-11.7	-6.6
11	5.1	-12.2	-7.1
12	6.8	-12.4	-5.6
24/1	5.8	-10.7	-4.9
2	6.1	-8.2	-2.1
3	7.3	-8.0	-0.7
4	5.2	-9.3	-4.1
5	5.2	-10.9	-5.7
6	3.6	-11.1	-7.5
7	3.4	-10.8	-7.4

(年月)

小規模企業景気動向調査(7月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

地域全体として、町への人出が増加しており、夜の飲み会も増加してきた印象がある。また、消費者マインドとしてメリハリが強くなっている。節約する消費財への支出は極力抑えるも、お酒や飲み会など特別なモノ・コトへの消費額が増加している。

(栃木県壬生町商工会)

島内産業に係る景況は、仕入価格の高騰やなり手不足が影響し、全体的な傾向として悪化しているように思う。一方で7月末、念願の佐渡金山世界遺産登録が決定し、島民の盛り上がりは最高潮に達しており、インバウンドを始めとした観光業は今後の成長が期待される。一過性の盛況とせず、島内産業全般に良い影響を波及させる為、業種や官民を区別せず、一丸となって地域経済の活性を支える必要がある様に感じる。

(新潟県両津商工会)

一部業種では好調となっているものの、全体としては値上がり等による対応で、価格交渉や値上げを随時行う必要が出ている。変化に伴う対応力の有無が重要なカギとなっている。

(岡山県岡山北商工会)

全体として、現場受注の増加や価格転嫁により売上が増加している事業者が多いような印象を受ける。しかしながら、仕入費用、人件費等の各種経費もまた増加しているため、適切な価格転嫁及び生産性の向上など、最終利益を確保する経営計画が求められている。

(長崎県諫早市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

飲食店において、週末はかなり賑わいが戻ってきている気配はある。ただし、コロナが流行し始めているので、飲食店の利用客が減る可能性はある。

(青森県藤崎町商工会)

7月25日の豪雨災害により、事業所の被害にあわれた事業所は未だ休業している状況。車両整備、家電販売、建設関連については災害復旧に伴う修繕等、急激に増加しているが全てに対応しきれてはいない。また、海水浴、観光客等のハイシーズンの被害であることから、今後さらに影響は出てくるものと思われる。

(山形県遊佐町商工会)

各業種に於いても継続した物価高騰の影響を大きく受けているようである。観光関連業種に関しては、夏の繁忙期に突入しているようであり、ある程度の収入が見込まれる。しかし、物価高騰の影響により消費も最小限に留める傾向が見受けられるなど、消費に消極的な一面もみられる。

(福島県会津美里町商工会)

東京都をはじめ全国的に「最低賃金」の引き上げが計画されている中で、中小・零細企業にとっては柔軟に対応できる企業が多くはない。また、物価高騰による価格転嫁も図れない中、企業に対する支援策が提案できないと今後小規模零細企業等の廃業も避けられない。

(東京都清瀬商工会)

販売価格への転嫁により売上高は増加傾向にあるものの、その価格転嫁は充分とは言えず、また人員不足による受注体制の問題やそれを補うための防衛的な賃上げにも迫られ、物価高の中我慢の経営が続いている。

(新潟県寺泊町商工会)

製造業・建設業においてはコロナ後の影響や燃料代などの高騰で苦しさが見られるが、サービス業においては新規取引先の獲得や価格転嫁が上手にできており、前年度に比べて比較的安定した経営ができていると思われる。

(岐阜県川辺町商工会)

どの業種も人手不足な状況は変わっていない。山間部の小規模事業者においても外国人労働者を採用する事業所が出てきている。

(愛知県岡崎市ぬかた商工会)

窓口や巡回等でヒアリングを行ったところ、「猛暑」「人材不足」「材料や電気代の高騰」をどの業種も言われた。また、ゼロゼロ融資返済のための資金繰りに苦慮との声もあった。2024年問題への対応が難しい零細運送業では、時間内で往復出来る距離の荷物を主に対応しているとの事だった。コロナの感染者が増えているため、社内で感染者が発生した場合、従業員の出勤シフトや納期への影響などの意見もあった。

(岡山県瀬戸内市商工会)

夏休み期間となり観光客が増加。あらゆる分野で回復の兆しが見える。しかしながら、代行やタクシー業者は廃業により人手不足であり、宿泊施設もコロナ過で減少した影響により、コロナ以前までの回復には至らない。また、農業地帯であり、降雨量の減少や猛暑の影響により、農産物の生育、品質・出荷量に影響がでている。

(鹿児島県知名町商工会)

仕入れ単価が増加して厳しいが、価格転嫁を少しずつ進めている。

(沖縄県八重瀬町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

引き続き回復傾向にあるが、原材料の価格高騰や労働(雇用)不足が続いている。
(福島県田村町商工会)

ステンレスの仕入価格が安定しており、業況は上向きである。
(埼玉県八潮市商工会)

食品製造業においては、7月は夏休みの関係で人の動きが活発になり観光施設等からの需要が増加し、売上は増加傾向にあった。その他、外国人観光客の予約もあり盛況であった。一方で材料原価は上昇し続けているため、引き続き価格転嫁が必要な状況である。

(岡山県真庭商工会)
食料品製造関連の事業者は、インバウンドによる好況感があるが、仕入単価の上昇等により限定的である。機械金属製造業の事業者は、材料費の高騰、人手不足などから懸念材料が多い。

(長崎県対馬市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品…各卸先で消費が減っており、売上は前年比80%と減少。原材料は再度値上げとなったが価格転嫁できず、利益減少。例年お盆に割引セールを行っているが、人手不足により対応不可のため実施しない。繊維工業…既存取引先とは先方の材料供給契約が多いため、原材料高騰による収益減少はほぼないが、副資材の高止まりや人件費高騰が懸念材料。また大雨による交通機関への影響も今後出てくる可能性が高い。機械・金属…中国経済失速の影響から受注低迷が続いている。当社も受注難に陥っており、国内需要への展開を求めて首都圏メーカーとの商談を進めているが、大きな成果には繋がっていない。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)
食料品製造関連の事業者は、仕入単価や電気料等の経費増加が利益を圧迫しているとのこと。取引先とのパワーバランスの関係上、値上げ交渉が困難なケースもある。

(栃木県那珂川町商工会)
地域柄、観光地であることと修学旅行先となっていることから、お土産品を出している事業所などは、シーズンにより売上が増加しているということをよく聞く。しかし原材料価格の上昇も依然続いており、対応できていない事業所も多い。

(千葉県南房総市内房商工会)
食料品製造業者は、材料や包装資材などの仕入単価が上昇し続けており採算が悪化している。販路拡大に取り組みむ小ロットの取引では、燃料費や運送費等の増加により利益の確保は難しい状況である。

(福井県おおい町商工会)
<茶業>加工茶(工業用)の生産が忙しい。一方、リーフ茶については、原材料生産減であり低調に推移し需要も低下してきている。業者によってばらつきがある。<自動車関連>減収減益の模様。生産は増加傾向にあるが依然厳しい状況。燃料費高騰による利益の圧迫が大きい。

(静岡県川根本町商工会)
食料品製造業では、水産資源の減少により仕入価格が上昇している。これに伴い、店頭およびネットショップの売上もやや減少している。繊維工業では、業界全体の業況は悪化しているものの、調査対象の事業所では過去の実績から受注が増加しており、10月中旬には新工場が竣工する予定である。機械金属製造業では、全体的に受注が減少していると感じられている。また、仕入価格の上昇を販売価格に十分に転嫁できていない商品もある。

(兵庫県新温泉町商工会)
食料品製造業関連の事業者は、菌床栽培を行っており外気温が高温のため、育成不良により陥ったため生産量が若干減少したことで、売上が減少傾向にある。また、光熱費の高騰の影響を受け利益の確保に努めている。繊維工業関連の事業者は、6月と比較して大きな変化は見られなかった。機械金属製造業関連の事業者は、仕入単価は高止まりしているが、為替が円高方向に振れているため、徐々にではあるが仕入単価の低下に期待できる。

(岡山県みまさか商工会 勝央支所)
金属製造業においては、受注はあるものの、人手が不足しており、納期管理が難しくなっている。仕入については、金属関係の材料は今もなお年に1回以上値上げしている。また、機械を多く保有している事業所は、メンテナンス費用が毎年150万円程度掛かるなど、経費が嵩んでいる。内燃機加工業においては、管内の漁師数が減ってきており、漁船の修理が減少している。一方で、遊漁船が少し増えており、受注については変わらない状況。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)
物価高騰による仕入れ単価の上昇が、じわりじわりと経営を圧迫してきている実感がある。人件費の上昇も相まって、小規模事業者の体力がどこまで持つか、踏ん張りどころである。今のところ、資金繰りの相談は低調である。

(鹿児島県屋久島町商工会 安房支所)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

資材等の納期が安定してきており、工期を延ばすことなく実施できているため、売上の回収が安定してきた。
(青森県野辺地町商工会)

6月より公共工事の受注が活発化してきている。

(山形県南陽市商工会)

建設業については個人宅のリフォームを中心に受注が回復してきている。

(埼玉県東松山市商工会)

原材料・エネルギー価格が高止まりする中、システム導入等により効率化を図ることで、生産性向上を図る動きがみられる。また、本市において4月に降雹被害が発生し屋根等の穴あき被害が多発した。この修理対応を行う事業者では特需的に売上が増加している。

(岡山県阿哲商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

建設業関連の事業者は、物価高騰の影響による仕入価格等の増加により、資金繰りに影響がややみられる。コストの見直しにより発注が取り消し、延期となるケースも見受けられた。

(北海道新ひだか町商工会)

公共工事をメインとした土木工事業者は、前年同程度の工事受注をしているが、燃料、材料、外注単価の高騰により収益確保に至っていない。

(宮城県東松島市商工会)

円安の進行やコスト負担の高まりが収益環境を悪化させており、人材不足、資材の高騰等の問題も解決できていないことも相まって、厳しい状況に変わっていない。

(山梨県甲州市商工会)

町内に建設事業所が、減少している為、受注が増えている。令和4年の台風による影響の工事がまだ完了していなく、仕事は人材もいないため遅れている。ほぼ毎日のように仕事の依頼があり、特に学校関係からの設備工事が多く、多くの組合を通して仕事の共有を図っている。

(静岡県天竜商工会)

住宅建築、土木工事業は例年並み。ガス・水道設備工事業で、近隣市町の事業者の廃業が続き、引き合いが増加。ただし、地域ごとでバルブなどの規格が異なることと、請負地域が広がったことで、在庫管理と人手不足が課題。

(愛知県下山商工会)

天候に左右される現場作業が多い建設業は、最近のゲリラ豪雨や猛暑により作業がストップすることが多々発生している。そのため、納期が遅延すると作業時間の増幅による従業員の賃金が見積りより多く発生することで自社の持ち出しが増え利益が減少する。この状態が長く続くと、資金繰りの悪化にも繋がり、従業員の負担も多く発生し、悪循環である。

(三重県伊勢小俣町商工会)

土木、建設業では公共工事が例年より少なく、小規模の工事で繋いでいる等大変厳しい状況。建築関連では、メーカーからの値上げは少し落ち着き始めているが施主さんとの慎重な見積り、打ち合わせは引き続き必要とのこと。マンパワー不足で年間の新築着工件数にも限界がある。若手職人の育成に尽力するも、数年で辞めてしまい人材不足の状況であるとの声もある。

(兵庫県丹波市商工会)

町内各地で解体工事が進んでいるが、新築する様子はない。受注は例年並みにあるものの、人手不足により工期の遅れが生じている。外注しようにも外注先にも人がいない。酷暑での作業が厳しいことから、ますます人員の獲得は難しくなっている。

(鳥取県北栄町商工会)

管内においては駐屯地建設などのおかげで業況が大きく悪化した訳ではないものの、資材や燃料費の高騰により収益性の悪化が見受けられる。収益性悪化と人手不足解消のため内部体制を見直し生産性向上に繋がる設備投資を行う事業所からの相談が増えている。

(佐賀県佐賀市南商工会)

建設関係は7月は県の補助事業もあり機器導入相談も数件あったが、いずれの事業者も人材不足の対応するための内容であった。一方、価格転嫁が出来ず資金不足に陥っている事業者もあり、依然として景況感が広がっているとは感じられない。

(鹿児島県かのや市商工会)

県内の公共工事や民間工事の受注も順調に推移しており、売り上げは例年より上向きであるが、資材高騰や人材不足さらに光熱費高騰など経費負担により採算はあまり見込めない

(沖縄県北中城村商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

衣料品小売業は、夏季シーズンとなり売上も好調。食料品小売業は一部値上がり商品などの影響で売上高も比較的順調に推移している。

(群馬県みどり市商工会)

家電小売業・工事業において、猛暑の影響による一般住宅のエアコン入れ替えは堅調であり、8月に入っても継続的に要請があるが、夏場を過ぎてからの売上の落ち込みは懸念事項である。

(東京都日の出町商工会)

猛暑によりエアコンの販売が増加している。

(京都府木津川市商工会)

夏休みの影響で観光客が増加傾向にあり、前の月より好調である。

(熊本県天草市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

小売業全般で厳しい状況が続いている。人口減少に比例し売上が減少し仕入価格は高止まりの状況にある。事業主の高齢化が著しく、新しい取組に対し消極的であるため、事業承継等で経営者の若返りを図り、ニーズと時代に適合した新しい商売のやり方を提案していきたい。

(青森県今別町商工会)

インバウンドの影響で外国人観光客が多くみられ消費活動が多く感じるが、新札対応がまだの事業所もあり、対応に追われている状況である。

(秋田県白神八峰商工会)

小売業全体で仕入単価の上昇が定期的に行われている状況に不安を感じている。仕入価格上昇分を大手のように値上げができれば良いが、小規模な事業所ほど顧客が離れてしまうのではないかと思い、値上げについて迷っている。

(茨城県八千代町商工会)

地方の人口減少地域での衣料品小売は、都市郊外への大型店や衣料品小売チェーン、ネット通販に顧客を奪われている。近隣顧客も高齢化や客数減少は進行しており、現状のままでは業況の好転は困難な状況。

(群馬県嬋恋村商工会)

頻繁な値上げは難しいことから、仕入価格や固定費の上昇分を十分に反映できていない様子。消費者側も物価の高騰により買い控えや価格の安いものを選ぶ傾向がみられ、客単価の低下や来店頻度の減少についての声が聞かれている。

(静岡県沼津市商工会)

食品小売業の個人店の八百屋では、町の生活インフラとしての役割を担っているという自覚で営業を続けてきたが、食料品価格の急騰の中、大手スーパーなどの価格競争にはついていけず、経営は先細りの一途である。仕入れの種類や量での工夫にも限界がある。衣料品小売業では、若者を中心にファストファッションが好まれる傾向にあり、特に、夏物被服にその傾向が強く、売上の減少が著しい。衣料品小売の個人店で、高齢者層が主要な顧客であるが、最近の家族構成やライフスタイルの社会的変化から、介護施設への入居が増えて顧客の減少が目立つ。

(愛知県飛島村商工会)

衣料品では、仕入れ単価は一時の値上がりからは落ち着いているが未だに増加している。業界としてもコロナを機とした買い控えが継続中。食料品では、サラダ油、オリーブオイルなどの価格が上昇。山間地域は、他に店がないため、やむを得ず購入されているが買い控えも生じている。耐久消費財では、車検の裏年ではあるが、新規顧客もあり、売上は横ばい。価格転嫁は出来ており、採算は取れている。業界としては人手不足で受注件数が限られ悪化傾向。

(鳥取県大山町商工会)

菓子小売業では、冠婚葬祭の規模縮小や物価高騰で売上減少と価格転嫁できず利益確保に苦慮している。二輪車販売店では、通学用自転車が少子化や大型店への流出で減少している。一方バイクは修理や販売が伸びている事業者もある。

(香川県高松市中央商工会)

小売業については、食品関係など生活にかかせないものを販売している事業所は原材料費の高騰による値上げを行った場合であっても消費行動は大きく変容するほどではなく、現状維持の場合が多い。しかしながら、全国展開している大手スーパー等相手では価格競争では勝てないため、物価高騰が長期化することになると、何等かの優位性を示さなければ今後業況は更に悪化していくと考えられる。

(長崎県西そのぎ商工会)

衣料品小売業関連の事業者は、夏は外出する人が少なくなため、集客に苦労している状況になっている。食料品小売業関連の事業者は、外国人観光客の増加し、売上も上がっているが、国内観光客が減少傾向になっている。

(熊本県阿蘇市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

理美容は固定客中心のため人口減による売上減少は続いているものの、店舗改修および子供向け、若年者向けカットのPRにより前年対比プラスの店舗もある。宿泊業は公共事業発注が順調なため、業者利用があり前年並みに推移。

(北海道小平町商工会)

旅館・宿泊所関連の事業者は売上は前年比1割程度増加したが、地域業界(飲食、宿泊)においては少し落ち込んでいるように感じる。洗濯業に関する事業者は衣替えの忙しい時期は終わった。昨年より売上は増加しているが、お客さんが増えたわけでもない。価格の値上げによる売上増加である。まだ価格転嫁できていないものもある。理美容業関連の事業者は物価高騰の煽りを受けているのが事実だが、特段例年の7月と変わりなかった。

(秋田県かづの商工会)

観光ブームで予約は好調。学生の合宿や宿泊のニーズは旺盛で、夏季は満室が続く。インバウンドの取り込みは出来ていない(需要があっても応じられない)。

(千葉県白子町商工会)

宿泊業においてはインバウンドの顕著な増加が継続しているほか、海水浴客やアニメ関連の国内観光需要も好調で、売上はコロナ前並みに回復している。原材料やエネルギー高騰の価格転嫁も進み、資金繰りが好転している先も見られる。8月以降の予約も前年より好調。洗濯業では資材費、光熱費等の高騰による値上げで客離れを懸念していたが、深刻な影響は出ていない。むしろ、販促の実施により売上利益は伸びている先もある。課題としては設備の老朽化が上げられる。理美容業においては、ヘア以外のメニューを取り入れている美容室では新規顧客獲得に注力している。顧客の固定化により事業は安定しているが、顧客開拓を課題とする先は多い。

(鳥取県鳥取市西商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

サービス業については居抜き物件を活用した飲食店(居酒屋)の創業が1件あった。7月は大きなイベントが開催された影響もあり、前月比ではサービス業全般の売上は伸びているが、昨年同月と比較した場合にはやや落ち込みが見られる結果となった。

(北海道枝幸町商工会)

夏休みに入り土日を中心に宿泊客の予約が多く入っているが、気温が高すぎて海水浴客が例年より少ない状況である。

(茨城県大洗町商工会)

事業も高齢で客層も高齢のため、やれるかぎりまでできればと思っていたが、光熱費やシャンプーなどの値上がりで早めに店じまいも考え始めている。

(神奈川県寒川町商工会)

宿泊業では、まだお客様を宿泊させられる状態ではないため、ボランティアの方に安価でご利用いただいている。理美容業では、近隣に仮設住宅が整備されたことでの需要を見込んでいたが、それほどでもなかった。

(石川県門前町商工会)

宿泊関連の事業者は、梅雨明けが遅く、登山客が減少したため、売上が減少傾向にある。今後の天候に期待する。夏休みに入り学生の利用が増えている。

(長野県小谷村商工会)

宿泊業については、昨年からは回復しているものの、食材を始めとした仕入、電気料など経費負担が大きく採算性は厳しいと思われる。今夏の客足は、猛暑の影響もあり、あまり良い状況ではない。特に海水浴場は厳しい模様。洗濯業は、個人の取り扱いを縮小し、普段着をやめ、大物だけに絞り込む店舗がある。理由としては光熱費の高騰があると考えられる。理美容業は大きな変動なし。

(静岡県河津町商工会)

生活スタイルの変化が若年層の顧客が減少している。クリーニングの需要が少ない模様。クリーニング業界の業況はよくないが、染み抜きに特化した看板を設置しており遠方からネット検索して来店され売上を確保している。理美容業界も業況はよくないが大学卒業後就職して地元に戻ってきた顧客が再来店や口コミ等で売上に繋がっている。

(福岡県みやま市商工会)

飲食・宿泊業のサービス業においては、個人消費の落ち込みに加えて、猛暑による観光客の減少が響いており、売上は減少傾向にある。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

7月に入り天気が回復したため売上が持ち直したが、依然として厳しい状況に変わりはない。仕入上昇に伴い経費が経営を圧迫している。7月は売上、採算ともに問題なく推移しているが、業界はかなり厳しい状況が続いている。8月に入り、例年と違い違和感があり何かが違うと感じる。

(鹿児島県日置市商工会 日吉支所)